関川村健康づくり計画 「健康せきかわ21(第2次)」

関川村第2次食育推進計画



~村民あげての健康づくり 関川村は大したもん蛇~

平成28年3月



新潟県 関川村

「第2次」 ―― 評価と前進

村民あげての健康を基本にすえて「健康せきかわ21」を策定して取り組んだのは、10年前の2005年(平成17年)3月です。それをうけて2009年(平成21年)4月に「関川村食育推進計画」、2011年(平成23年)3月には「関川村歯科保健計画」実施と同時に「健康せきかわ21」の中間評価を行ってきました。

今回、第2次の「健康せきかわ21」と「食育 推進計画」をそれぞれに策定しました。

第2次計画の特長のひとつは、これまでやって きたことの評価が詳細になされ、今後の目標も数 値を主体に示されていることです。「歯科保健分野」 も計画の中に含まれています。



この「数値」は、この「計画」実施以来、各分野で、あるいは各地域で、専門の方々や住民が取り組んでこられた成果です。健康づくり推進にあたられた皆さまに感謝いたします。第2次計画により、さらに推進してまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

この「計画」の分野には入りませんが、「村民の健康」という大きな「切り口」でみますと、その他にも「環境問題」や「心の健康」などがあります。また、新潟大学で継続調査研究されている関川村の「健康コホート調査」もあります。この第2次計画を推進していくにあたって、横断的な連携も必要になってくると思われます。

この計画が、村民あげての健康づくりの柱になることを念願しています。また、策定にあたられた村上保健所長、医師をはじめ、健康づくり推進協議会委員の皆様にお礼申し上げます。

2016年(平成28年)3月

関川村健康づくり計画「健康せきかわ21(第2次)」目次

第1草	健康セ	きかわ	21」	計	画の) 概	安											
1	計画策況	定の背景	と趣	旨										•				1
2	計画の	基本理念							•		•			•	•	•		1
3	計画の化	立置づけ							•		•	•			•			1
4	計画の排	朝間と割	価方	法											•			2
5	健康づ	くりに関	する	情報	褆	# σ.	推:	進	•	•		•	•	•	•		•	2
6	計画の	4 つの柱	と長	期目	標	望	ま	しし	\姿	()	•	•	•	•	•	•	•	2
第2章	前計画	画の評価	5															
1	計画全体	本の評価	j -															3
2	分野別詞	評価 •					•		•		•	•	•	•	•	•	•	4
第3章	分野兒	削計画																
「健康	せきかわ	21(第 2	2次)	4 ا	つの	柱	•	•										14
栄養	• 食生活	分野 •									-	•	•	•	•	•		15
運動	分野 •								•				•	•	•	•	•	19
たば	こ・アルコ	コール分	野				•		•			•		•	•	•		23
歯科	保健分野		• •			•		•				•	•	•	•	•	•	25
第4章	資料絲																	
人口	動態 •								•		•						-	35
特定	健診結果								•			•	•	•	•	•	•	37
栄養	• 食生活会	分野 •							•		•	•	•	•	•	•	•	39
運動	分野 •					•		•	-		•		•	•	•	•	•	50
たば	こ・アルコ	コール分	野						•			-		-	•	•		54
歯科	保健分野								•		•		•	•		•		60
参考	資料																	
Γ	健康せきた	かわ 21	(第 2	次)	」討	画	策定	E委	員	名簿	ţ	•	•	•	•	•	•	64
	計画の策算	定経過																65

第1章「健康せきかわ21」計画の概要

第1章 「健康せきかわ21」計画の概要

1. 計画策定の背景と趣旨

わが国は、生活水準の向上や医療技術の進歩などにより平均寿命が伸び、世界有数の 長寿国となりました。その一方で出生率は減少し、少子高齢化が進展しています。

当村でも高齢化率(65歳以上の人口割合)が平成27年9月末現在で37.7%と国、県の平均を大きく上回っています。また、出生率(人口千対)は平成26年に3.7と国、県の平均を大きく下回っており、少子高齢化・人口減少社会の先陣を切って歩んでいる現状です。少子高齢化の進展により、医療や介護に係る負担が一層増すと予想されます。

こうした状況の中で、住民がいきいきと健康な生活を送るためには、生活習慣病を予防し、健康づくりを推進することが重要です。

当村においては、平成 17 年 3 月に関川村健康づくり計画「健康せきかわ 21」を策定し、各分野ごとの目標を設定し、健康づくりの取り組みを進めてきました。さらに、中間年にあたる平成 22 年度には、中間評価を行うとともに、取り組みの見直しを行っています。また、平成 21 年 4 月には「関川村食育推進計画」、平成 23 年 3 月には「関川村歯科保健計画」を策定し、「健康せきかわ 21」と併せて取り組みを推進するとともに進捗状況の確認や評価を行ってきました。

このたび「健康せきかわ 21」の 1 次計画期間の終了を迎えたことから、住民の健康づくりへの新たな取り組みとして「健康せきかわ 21 (第 2 次)」を策定しました。策定にあたっては、村独自の健康課題に重点を置き 4 つの分野における健康づくりの具体的な取り組みを示しています。

2. 計画の基本理念

心がかよいあう福祉と健康のために、住民一人ひとりが健康づくりに取り組むとともに、家庭や地域、学校、職場、関係機関・団体等が連携して「健康でいきがいに満ちた生活ができる」地域づくりを目指します。

3. 計画の位置づけ

健康増進法第8条に規定する「市町村健康増進計画」として策定するものであり、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に基づき、当村の実情に応じた健康づくり推進の方向性を具体的に示した計画です。また、第6次 関川村総合計画の個別計画として位置づけ、村民、家庭や地域、学校、関係機関・団体等及び村が、共通理解のもとに協働して健康づくりに取り組むための計画です。なお、当村におけるその他の関連計画と整合性を図ることとします。

4. 計画の期間と評価方法

2016年(平成28年度)~2025年(平成37年度)の10年間とし、202 0年(平成32年度)を中間評価の年にします。

また、国・県の方針や社会情勢の変化等により、必要に応じて見直すものとします。 計画の評価については「関川村健康づくり推進協議会」において、目標達成のための 進捗状況の確認や評価などを年度ごとに行います。

5. 健康づくりに関する情報提供の推進

健康づくりにおいては、住民自らが行動を起こすことが重要であり、そのためのきっかけづくりとして健康に関する情報を広く周知していくことが必要です。

また、これまで以上に情報提供のあり方を工夫し、広く住民に普及・啓発していきます。

6. 計画の4つの柱と長期目標(望ましい姿)

「栄養・食生活分野」「運動分野」「たばこ・アルコール分野」「歯科保健分野」の4つの分野で計画立案しており、10年後の長期目標を以下のとおり示しています。

(1)「栄養・食生活分野」

長期目標(望ましい姿)

◎子どもの頃から食生活を大切にし、生涯にわたって健康なからだを保つ。主要になる取り組み

(2)「運動分野」

長期目標(望ましい姿)

- ◎子どもの頃から楽しく正しい運動習慣を身につける。
- ◎いつまでも若々しく、体力を維持する。
- ◎運動不足からくる生活習慣病を減らす。
- (3)「たばこ・アルコール分野」

長期目標(望ましい姿)

◎「禁煙」や「節度ある適度な飲酒」に努め、健康を保つ。

(4)「歯科保健分野」

長期目標(望ましい姿)

◎村民一人ひとりが生涯、歯と口の健康を保ち、その人らしい快適な生活を送れる。

第2章 前計画の評価

第2章 前計画の評価

住民一人ひとりが健康づくりに取り組み、「健康でいきがいに満ちた生活ができる」地域づくりを目指し、平成 17 年 3 月に策定した前計画について、平成 22 年度に中間評価と取り組みの見直しを行い、平成 27 年度まで健康づくりの取り組みを継続してきました。また、平成 21 年 4 月には「関川村食育推進計画」、平成 23 年 3 月には「関川村歯科保健計画」を策定し、「健康せきかわ 21」と併せて取り組みを推進するとともに最終年度である 27 年度に進捗状況の確認と評価を実施しました。

1. 計画全体の評価

指標 162 項目について、中間評価時の値(歯科保健分野においては策定時の値)と 最新値を比較し、評価しました。

目標を達成した項目が 48 項目 (29.6%)、目標は達成しなかったものの改善した項目は 28 項目 (17.3%) であり、指標の 46.9%が改善しました。(表 1)

【表 1】

- · · -		
評価区分	該当項目数	割合 (%)
目標達成	48 項目	29. 63%
改善	28 項目	17. 28%
悪化または不変	59 項目	36. 42%
評価不能	27 項目	16. 67%

目標達成した項目または目標は達成しなかったものの改善した項目の割合が50%を超えたのは「たばこ」と「栄養・食生活」の分野でした。一定の成果が得られたと評価できます。本計画では、目標達成した項目が一番多かった「たばこ」分野については、目標が達成していない項目のさらなる推進とともに「アルコール」についても併せて目標を定め、取り組みを推進していきます。「栄養・食生活」分野については、目標達成に向けて、取り組みをさらに推進していきます。一方で「運動」分野は、悪化または不変の項目も多く、取り組みの成果がなかなか得られませんでした。本計画では、取り組みを見直し、対策を強化していく必要があります。「歯科保健」分野は、平成22年度に「関川村歯科保健計画」を策定し、その後の5年間の評価になりますが、悪化または不変の項目、評価不能の項目が多い状況です。本計画では、評価不能の項目については、現状と目標値をきちんと定め、取り組みをさらに推進し、悪化または不変の項目については、取り組みを見直し、対策を強化していきます。

2. 分野別評価

(1) 栄養・食生活分野

【評価】 ◎:目標達成、 ○:改善、 ×:悪化または不変、 —:評価不能

〇乳幼児期

指標			2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
朝食を欠食する子の割合	保育園児	5.0%	0%	4. 5%	0
	保護者	9. 6%	5%	14. 8%	×
起きる時間が8時台以降	1歳半児	21.6%	5%	3.0%	0
の割合	3 歳児	0%	5%	6.0%	×
寝る時間が 10 時台以降	1歳半児	21.6%	5%	9.0%	0
の割合	3 歳児	13.8%	10%	14.0%	×
野菜嫌いの子の割合	保育園児	31. 2%	20%	51. 7%	×
間食を1日3回以上食べ	1歳半児	35.1%	10%	30.0%	0
ている子の割合	3 歳児	17. 2%	10%	20.0%	×
肥満の出現率	保育園児	8. 3%	6%	5. 5%	0

〇学童・思春期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
朝食を欠食する子の割合	小学生	4. 2%	3%	5.9%	×
	中学生	8. 2%	5%	10.5%	×
10 時以降に寝る子の割合	小学生	16.9%	10%	24. 3%	×
寝不足をいつも感じてい	小学生	5. 5%	3%	3.8%	0
る子の割合	中学生	12. 7%	8%	13. 7%	×
肥満児の割合	小学生	11. 7%	9%	12. 4%	×
	中学生	11.0%	9%	14. 6%	×
1日3回以上間食を食べる子の割合(平日)	小学生	4. 3%	3%	0.9%	0
ジュースを毎日飲む子の 割合	小学生	18. 4%	10%	17. 2%	0
給食での地場産の食材自	関川産	15.1%	増加	6. 9%	×
給率 (小学校)	県内産	40. 0%	増加	33. 2%	×

〇青壮年期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
男性の肥満、糖代謝異常 (HbA1c≥5.2%)※(最新値 は HbA1c≥5.6%)、脂質代 謝異常(中性脂肪≥150) の者の割合	肥 満 (男 性) 糖代謝 (男女) 脂質代謝 (男女)	41. 7% 73. 9% 31. 0%	減少	39. 0% 66. 1% 32. 8%	0
	男性	24.6%	30%	27. 2%	0
野菜を毎食食べる人の割合	女性	27. 4%	35%	28. 4%	0
牛乳・乳製品を全くとっ ていない人の割合	男性	26.5%	20%	18. 8%	0
	女性	20. 1%	15%	0%	0
郷土料理や食文化を伝え る場の回数	食推 地区活動	年5回	年5回	年6回	0

〇高齢期

指標	中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
65歳以上で欠食する人の割合	11.8%	8%	4. 5%	0
65 歳以上で毎食野菜を食べる人の 割合	86. 7%	90%	81. 6%	×

【栄養・食生活分野評価結果】

29 指標中 目標達成した指標: 7 指標

目標達成はしていないが改善した指標: 8指標

悪化または不変: 14 指標

評価不能: 0

◆目標達成した指標または目標は達成していないが改善した指標: 51.7%

(2)運動分野

【評価】 ◎:目標達成、 ○:改善、 ×:悪化または不変、 —:評価不能

〇乳幼児期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
肥満児の割合(保育園児)	男子	8%	6%以下	5. 0%	0
肥満度 15%~30%	女子	8. 8%	6%以下	6.0%	0
天気のよい日の遊び場所が家る 家と外の半々の子の割合	または	78. 7%	60%	71.5%	×
体を使った遊びの頻度が 2~3 日に 1 回または 1 日 10 分以内の子の割合		45. 4%	40%	34. 8%	0
主な遊びの内容が家でゲーム、絵本等の子の割合		22%	15%	30. 3%	×
テレビを見たりゲームをやる時間が 1 日 3 時間以上の子の割合		12. 1%	10%以下	4. 5%	0
子育て支援センター利用平均 (1 日平均人数)	人数	4~8人	5 人以上	2. 2 人	×

〇学童・思春期

指標		中間評価	2015年(H27)	最新値	評価
1日 1余		(H22 年度)	の目標値	取利胆	AT IM
肥満児の割合(小学生)	男子	12. 8%	9%以下	10. 4%	0
肥満度 20%以上	女子	10. 6%	9%以下	14. 4%	×
肥満児の割合(中学生)	男子	10. 6%	9%以下	14. 7%	×
肥満度 20%以上	女子	11.3%	9%以下	14. 5%	×
天気のよい日の遊び場所が家または家		81. 2%	7004 121 15	71.5%	0
と外の半々の子の割合(小学生	≣)	01.2%	70%以下	71.5%	O
体を使った遊びの頻度が 2~3	日に1				
回または1日10分以内の子の	割(小学	64. 8%	60%以下	52.0%	0
生)					
体を使った遊びの頻度が 2~3	体を使った遊びの頻度が 2~3 日に 1				
回または1日10分以内の子の	割合(中	42. 9%	40%以下	19. 2%	0
学生)					

〇学童・思春期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
体を動かすことが好きではない子の割 合(中学生)		9. 5%	9%以下	11. 6%	×
主な遊びの内容が家でゲーム、本等の 子の割合		38. 7%	30%以下	1	
テレビを見たりゲームをやる時間が1 日3時間以上の子の割合(小学生)		10.5%	10%以下	13.0%	×
テレビを見たりゲームをやる 日3時間以上の子の割合(中		37. 6%	30%以下	38. 2%	×
体力テスト結果で握力・持久	小学生	握力下回る	握力が県平均	3年男女平	×
力の県平均との比較			に追いつく	均未満	^
	中学生	2、3 年男子	持久力が全学年県	ほぼ全学年で	0
		持久力下回る	平均に追いつく	県平均以上)

〇壮年期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
運動習慣のある人の割合(1回30分以 上の運動を週2回以上実施し、1年以 上持続している人)		26. 8%	30%	30. 3%	0
身体活動のある人の割合(日 おいて歩行または同等の身体 日1時間以上実施している人	活動を1	54. 4%	60%	51.0%	×
1日の歩数	男性	7827 歩	9200 歩	7967 歩	0
	女性	5978 歩	8300 歩	7986 歩	0
週4回ラジオ体操を実施して 割合	いる人の	18. 1%	20%	3. 9%	×
肥満 (BMI25 以上) の割合 (特定健診結果)		34. 3%	32%	30. 8% (H26)	0
脂質代謝異常(保健指導以上 (特定健診結果)	の割合	54%	52%	57. 7%	×
糖代謝異常 (保健指導以上) の定健診結果))割合 (特	69%	65%	44. 7%	0

〇高齢期

指標		中間評価 (H22 年度)	2015 年(H27) の目標値	最新値	評価
運動習慣のある人の割合 (1回	男性	41. 7%	39%	35. 9%	×
30 分以上の運動を週 2 回以上実施	女性	33. 7%	35%	26. 7%	×
し、1 年以上持続している人)	Д	00.770	0070	20.770	
15 分続けて歩ける人の割合		84. 5%	増加	74. 5%	×
1年間に転倒したことがない人の割合		80. 9%	増加	68. 2%	×
地域の茶の間実施地区		23 地区	全集落 (54)	29 地区	0
地域の茶の間参加延べ人数		1750 名	1900 名	3146 名	0

【運動分野評価結果】

33 指標中 目標達成した指標: 10 指標

目標達成はしていないが改善した指標: 5指標

悪化または不変: 17 指標

評価不能: 1指標

◆目標達成した指標または目標は達成していないが改善した指標: 45.5%

(3) たばこ分野

【評価】 ◎:目標達成、 ○:改善、 ×:悪化または不変、 -:評価不能

〇学童・思春期

指標	中間評価 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価
たばこの害について正しく知っている中 学生(中学3年生)の割合	95. 7%	100%	100%	0
たばこを吸ったことのある中学生の割合	0. 5%	0%	0%	0
たばこを勧められたら断ることができる 中学生(絶対断る、たぶん断る)の割合	92. 3%	100%	97. 8%	0
小中学生の前でたばこを吸わない大人の 割合	22%	50%	67. 6%	0
小中学校の喫煙防止に取り組む PTA 割合 (敷地内全面禁煙の周知・徹底)	_	100%	100%	0
禁煙宣言施設数(村が直接または間接的 に管理する公共施設)	全施設	全施設	全施設	0
小中学校・保育園の敷地内禁煙登録数	全施設	全施設	全施設	0

〇青壮年期 • 妊産婦

指標		中間評価 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価
喫煙率	男性	35. 5%	30%	35. 5%	×
	女性	5. 7%	5%	6. 9%	×
村内民間飲食店の禁煙・分煙宣言	1ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	×	

【たばこ分野評価結果】

10 指標中 目標達成した指標: 6 指標

目標達成はしていないが改善した指標: 1指標

悪化または不変: 3指標

評価不能: 0

◆目標達成した指標または目標は達成していないが改善した指標: 70%

(4)歯科保健分野

【評価】 ◎:目標達成、 ○:改善、 ×:悪化または不変、 -:評価不能

〇乳幼児期

指標		策定時 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価
むし歯がない子の割合	2 歳児	88. 8%	90%	91.1%	0
	3 歳児	53. 7%	60%	68.6%	0
	5 歳児	28. 6%	35%	21. 7%	×
歯磨き1日2回以上の割合	1歳6カ月児	37. 0%	50%	42.1%	0
	2 歳児	63. 2%	80%	36.1%	×
	3 歳児	68. 6%	80%	50.0%	×
仕上げ磨きなしまたは時々の	1歳6カ月児	14. 8%	8%	5. 2%	0
子の割合	2 歳児	5. 3%	0%	5. 5%	×
	3 歳児	8. 6%	0%	4. 7%	0
間食1日3回以上食べている子	1歳6カ月児	27%	20%	26. 3%	0
の割合	3 歳児	22%	20%	19.0%	0
よく噛まないで食べている子	3歳以上	21.8%	15%	20. 7%	
の割合(保育園)	児	21.0%	10%	20. 1%	0
噛み応えのあるものが苦手な	3歳以上	2. 7%	0%	1. 1%	0
子の割合 (保育園)	児	Z. 170	U 70	1. 170	

〇学童・思春期

指標		策定時	平成 27 年度	最新値	評価
72 (2)		(H22 年度)	の目標値	-1247111	#1 II—
12歳児1人平均むし歯数		0.84本	0.80本	0 本	0
永久歯むし歯有病率(小学生)		20. 7%	15%	10. 9%	0
CO所有率	小学生	22.0%	15%	6. 6%	0
	中学生	41.1%	30%	18.5%	0
GO所有率	小学生	13.1%	10%	2. 7%	0
	中学生	21.5%	15%	5. 2%	0
むし歯未処置歯率	小学生	33. 3%	25%	66. 7%	×
	中学生	14.1%	10%	57.1%	×
1日3回以上歯磨き実施率	小学生		_	要調査	_
	中学生	78. 8%	85%		_

〇学童・思春期

指標	策定時 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価	
朝の歯磨きが時々や磨かない	小学生	16. 7%	10%	33. 4%	×
子の割合	中学生	12. 5%	10%	8.6%	0
夜の歯磨きが時々や磨かない	小学生	21.0%	10%	25. 9%	×
子の割合	中学生	19. 2%	10%	13. 7%	0
よく噛まないで食べている子	小学生	28. 1%	20%	28. 9%	×
の割合	中学生	13. 2%	8%	16. 3%	×
噛み応えのあるものが苦手な	小学生	2. 7%	0%	3.9%	×
子の割合	中学生	3. 7%	0%	2. 9%	0

〇青壮年期 • 妊産婦

指標	策定時 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価	
定期的に歯科健診を受診する	男性	9. 3%	15%	21.1%	0
人の割合	女性	12. 4%	15%	29. 2%	0
歯周疾患検診受診率	5.0%	10%	2. 8%	×	
歯周疾患チェック受診率	47. 8%	60%	21.6%	×	
1日2回以上歯磨きをする人の	男性	58. 3%	65%	64. 0%	0
割合	女性	84. 3%	90%	88. 1%	0
歯間清掃用器具を使用してい	男性	29.9%	40%	28. 9%	×
る人の割合	女性	52.5%	60%	49.9%	×
人と比較して食べる速度が速	男性	23.5%	15%	9. 4%	0
い人の割合	女性	18. 9%	15%	12. 9%	0
口や歯に関して意識して行って	男性	49.5%	35%	52. 7%	×
いることは特にない人の割合	女性	34. 1%	25%	29. 7%	0
8020 運動について意味まで知	男性	26. 1%	40%	22. 1%	×
っている人の割合	女性	45. 5%	60%	40.1%	×

〇高齢期

指標		策定時 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価
1日2回以上歯磨きする70代の	男性	45. 5%	60%	51.6%	0
割合	女性	66. 4%	70%	73. 2%	0
歯間清掃用器具を使用してい	60 代男性	32. 4%	45%	30.5%	×
る人の割合	60 代女性	43. 2%	45%	47. 5%	0
	70 代男性	32. 7%	45%	26. 7%	×
	70 代女性	36. 1%	45%	34. 0%	×
硬くて噛みにくい食物がある	60 代男性	24.1%	20%	21.5%	0
人の割合	60 代女性	22. 1%	20%	20.5%	0
	70 代男性	25. 1%	20%	19.1%	0
	70 代女性	27. 9%	20%	19.6%	0
飲み込みにくさがある人の割	70 代男性	25. 1%	20%	2. 5%	0
合	70代女性	27. 9%	20%	1.8%	0
20 本以上自分の歯をもつ 70 代	70 代男性	39. 9%	45%	45. 1%	0
の割合	70 代女性	28. 8%	35%	35. 7%	0
8020 運動について意味まで知	60代男性	31.1%	45%	29. 0%	×
っている人の割合	60 代女性	42. 0%	45%	38. 2%	×
	70 代男性	26. 8%	45%	25. 7%	×
	70代女性	24. 0%	45%	28. 9%	0

〇要介護者 • 障害者

指標		策定時 (H22 年度)	平成 27 年度 の目標値	最新値	評価
在宅要介護者で歯磨き1日2回	男性	_	要調査	36.0%	_
以上している人の割合	女性	_	要調査	64. 0%	_
在宅要介護者で歯間清掃用器	_	要調査	19.0%		
具を使用している人の割合	女性	_	要調査	44. 4%	_
在宅要介護者で定期的に歯科	男性	_	要調査	28. 0%	
医院を受診している人の割合	女性	_	要調査	44. 0%	_
口腔機能向上プログラムの実施し	回数	0 🗇	年3回	年8回	0
障害者(身体)で歯磨き1日2	男性	_	要調査	46. 3%	_
回以上している人の割合	女性	_	要調査	84. 4%	_

〇要介護者・障害者

指標	指標				評価
障害者(精神)で歯磨き1日2	男性	_	要調査	28. 6%	_
回以上している人の割合	女性	_	要調査	60.0%	_
障害者(知的)で歯磨き1日2	男性	_	要調査	40.0%	_
回以上している人の割合	女性	<u> </u>	要調査	100%	—
障害者(身体)で歯間清掃用器	男性	_	要調査	24. 4%	_
具を使用している人の割合	女性	<u> </u>	要調査	43. 5%	
障害者(精神)で歯間清掃用器	男性	_	要調査	16. 7%	_
具を使用している人の割合	女性	<u>—</u>	要調査	20.0%	
障害者(知的)で歯間清掃用器	男性	_	要調査	27. 3%	_
具を使用している人の割合	女性	—	要調査	50.0%	_
障害者(身体)で定期的に歯科	男性	_	要調査	43. 9%	_
医院を受診している人の割合	女性	<u>—</u>	要調査	28. 9%	_
障害者(精神)で定期的に歯科	男性	_	要調査	28. 6%	_
医院を受診している人の割合	女性	<u>—</u>	要調査	40.0%	_
障害者(知的)で定期的に歯科	男性	_	要調査	20.0%	_
医院を受診している人の割合	女性	<u> </u>	要調査	50.0%	
お口の体操実施介護保険施設数		5 施設	6 施設	8 施設	0
(全9施設中)		り心改	□ 心心 記文	の心改	
口腔ケア実地研修実施施設数		2 施設	3 施設	2 施設	×
(H24~26 年度)		4 心改	3 心弦	4 心改	^

【歯科保健分野評価結果】

90 指標中 目標達成した指標: 25 指標

目標達成はしていないが改善した指標: 14 指標

悪化または不変: 25 指標

評価不能: 26 指標

◆目標達成した指標または目標は達成していないが改善した指標: 43.3%

第3章 分野別計画

関川村健康づくり計画「健康せきかわ21(第2次)」~4つの柱~

【栄養・食生活】

◆望ましい姿

子どもの頃から食生活を大切にし、生涯にわたって健康なからだを保つ

◆中期目標

生活リズムが整い、朝食 をしっかり食べる人が 増える 自分の身体や活動に 見合った栄養と量を知る機会が あり、バランスのとれた食生活 ができる

自分の適性体重を維持する

【運動】

◆望ましい姿

〇子どもの頃から楽しく正しい運動習慣を身につける

〇いつまでも若々しく、体力を維持する

○運動不足からくる生活習慣病を減らす

◆中期目標

運動を長続きさせる

家族ぐるみ、集落単位 で運動習慣をもつ

健康でいきがいに満ちた

生活ができる

【たばこ・アルコール】

◆望ましい姿

「禁煙」や「節度ある適度な飲酒」に努め、健康を保つ

◆中期目標

小中学生がたばこ・飲酒に ついての正しい知識を持つ 非喫煙者をたばこによる 健康被害から守るため、 受動喫煙を防止する

たばこや多量飲酒の害を 理解する

【歯科保健】

◆望ましい姿

村民一人ひとりが生涯、歯と口の健康を保ち、その人らしい快適な生活を送れる

◆中期目標

歯や口に関する正しい 知識が普及し、日頃から 家族みんなで適切な手入れ が行える 自分の歯と口に関心 をもち、むし歯や歯周病 になりにくい生活習慣が 身につく

14

関川村健康づくり計画(栄養・食生活分野)

長期目標 (望ましい姿)	◆ 子どもの頃から食生活を大切にし、生涯にわたって健康なからだを保つ
	◇ 生活リズムが整い、朝食をしっかり食べる人が増える◇ 自分の身体や活動に見合った栄養と量を知る機会があり、バランスのとれた食生活ができる◇ 自分の適正体重を維持する

			具体的な対策		<u> </u>	P価指標			実	施計画		
ライフステージ	現状と課題	保健行動の目標			評価指標	2015年	目標値 (2025年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体	
乳幼児期	◆ 朝食を欠食する子が保育園児	◆ 朝食を欠食する子が減る	•	保護者へ簡単朝食	♦	朝食を欠食する子の割合			「食」に関するア	・乳幼児健診(12回/年)での啓発	現	住民福祉課
	全体で5人おり4.5%である	健康日本21(第2次)に合わせ、将来		メニューを紹介する		保育園児	4.5%	0%	ンケート	・ふれあい福祉健康フェアや	現	住民福祉課・食推
		にわたって望ましい食習慣の形成								各種イベント等での啓発		
		に資する学齢期までは0%と設定	•	規則正しい生活リ						・子どもの料理教室(1回/年)	現(拡充)	住民福祉課・食推
	◆ 遅寝、遅起きの子がいる	◆ 遅寝・遅起きの子が減る		ズムや朝食を食べ	♦	起きる時間が8時台以降の割合	(2014年)		1歳半・3歳児健診	での普及啓発		
	8時以降起床			る大切さを伝えて		1歳半児	3.0%	2. 0%	でのアンケート	・おたより(2~3回/年)での普	現	保育園・住民福祉課
	1歳半児 3.0%、3歳児 6.0%			いく		3歳児	6.0%	5. 0%	調査	及啓発		A = 1= 1
	10時以降起床									・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課・総務課
	1歳半児 9.0%、3歳児14.0%				♦	寝る時間が10時台以降の割合	(2014年)			・食推、母推の地区活動の実施	現	住民福祉課・食推・母推
						1歳半児	9.0%	8. 0%				
						3歳児	14. 0%	13.0%				
	◆ 野菜嫌いの子が多い	◆ 野菜嫌いの子が減る	•	野菜が食べやすい	•	野菜嫌いの子の割合			「食」に関するア	・保育園給食の人気メニュー	 理	住民福祉課・保育園
	保育園児 51.7%			メニューを伝える		保育園児	51.7%	50.0%	ンケート	紹介による普及啓発		
								,-		・幼児健診で野菜を使った手	現	住民福祉課・食推
			♦	採れたて、季節の						作りおやつの試食会(4回/		
				食材のおいしさを						年)での啓発		
				体験する						・保育園給食の試食会(1~2回/年)	現	保育園
										• 食推地区活動実施	現	住民福祉課・食推
										・畑で野菜を育てる体験での啓発	現	保育園
										・収穫祭(芋煮会等)での啓発	現	保育園
										・保育園給食に地場産の材料	現	保育園・農林観光課
										をとり入れることによる啓発		
										・ふれあい福祉健康フェアや	現	住民福祉課・食推
										各種イベント等での啓発		
	◆ 幼児の肥満出現率が県平均に		♦	食に関する知識、		肥満の出現率	(2014年)		小児肥満等発育	・乳幼児健診(12回/年)での啓発	現	住民福祉課
	比べて高い傾向にある	健康日本21(第2次)の考え方と		食を選択できる力		保育園児(+15%以上)	5.5%	減少させる	調査	・おたよりでの普及啓発	現(拡充)	保育園・住民福祉課
	(肥満度+15%以上)	同様、減少値を設定せず減少さ		の習得等食育の充実						・個別指導(保護者)の実施	現	保育園・住民福祉課
	保育園児全体	せることとして設定								・幼児健診手作りおやつ試食	現	住民福祉課・食推
	平成26年度 4.24%(県4.26%)									会での啓発	(11 1)	10 = 1= 11 = m
	平成27年度 5.50%(県4.61%)									・子どもの料理教室(1回/年) 実施による普及啓発	現(拡充)	住民福祉課・食推
	◆ 間食が多い子がいる	◆ 間食を1日3回以上食べてい	•							・食育出前活動(1~2回/年)	現(拡充)	栄養・食生活部会
	1日3回以上(平日・休日含む)	る子が減る		や量を伝えていく		いる子の割合	(2014年)			実施による普及啓発		保育園
	1歳半児 30.0% 3歳児 20.0%					1歳半児		29.0%		・子育て支援センター事業(現(拡充)	子育て支援センター・
						3歳児	20.0%	19.0%		離乳食・おかず作り・おやつ		住民福祉課
										作り講習会)での普及啓発		

			具体的な対策	ā	評価指標						
ライフステージ	現状と課題	保健行動の目標		評価指標	2015年	目標値 (2025年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体	
学童 • 思春期	◆ 朝食を欠食する子が小学生全体で14人おり5.9%、中学生全体で13名おり10.5%である	◆ 朝食を欠食する子が減る 健康日本21(第2次)に合わせ、将来 にわたって望ましい食習慣の形成 に資する学齢期は0%と設定	メニューを紹介する ◆ 規則正しい生活リ ズムや朝食を食べ	◆ 朝食を欠食する子の割合 小学生 中学生			小学校、中学校で の生活実態調査	・PTA研修会での普及啓発・食推、母推の地区活動の実施・健康教育の実施・学校保健便りや給食便り等配布による啓発	現(拡充) 現 現 現	小・中学校、住民福祉課 住民福祉課・食推・母推 小・中学校 小・中学校	
	◆ 寝る時間が遅い子がいる - 10時以降に寝る子 5年生 34.0% 6年生 51.2% 小学生 24.3% ◆ 寝不足を感じている子が多い 小学生 3.8% 中学生 13.7%	減る	る大切さを伝えていく		◆ 10時以降に寝る子の割合 5年生 6年生 小学生 ◆ 寝不足を感じている子の割合 小学生いつも 中学生いつも※ 「ぐっすり眠れていない」 に回答文言変更	51. 2% 24. 3% 3. 8% 13. 7%	50% 23% 3%	小学校での生活 実態調査 「食」に関するア ンケート	・子どもの料理教室(1回/年)実施による普及啓発・広報や食育メモによる啓発		住民福祉課・総務課
		健康日本21(第2次)の考え方と 同様、減少値を設定せず減少さ せることとして設定	◆ 食に関する知識、 食を選択ですの充実 ・ 望ましい間食ののいく	 ◆ 肥満児の割合		減少させる	小学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中学校、中	・学校授業への導入 ・学校保健便りや給食便り等配 布による啓発 ・子どもの料理教室実施による	現(拡充)現(拡充)現(拡充)現		

				Ī	平価指標			実施計画									
ライフステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015年	目標値 (2025年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体							
青壮年期	◆ BMI25以上の方の割合が県内で 2番目に高い30.8%である 男女別に見てみると 男性30-60歳代 28.4% 女性40-60歳代 38.6%である	◆ BMI25以上の方の割合を 増やさない 健康日本21(第2次)の考 え方と同様、加齢により 肥満者の割合が増加する のではなく、10年後も現 在の肥満者の割合が維持 されることとして算定	◆ 自らの体の状態を 知る ◆ 肥満と生活習慣病 との関連付けを強 化する	◆ 30~60代男性の肥満者の割合◆ 40~60歳女性の肥満者の割合	28. 4% 38. 6%	28% 38%									・糖尿病等要指導者訪問での個別指導 ・特定健診結果説明会での 集団または個別指導 ・特定保健指導 ・歩く健康教室等実施による普及啓発 ・保健センター健康相談で	現 現 現 現	住民福祉課 住民福祉課 住民福祉課 住民福祉課・教育課・ 自然環境管理公社等 住民福祉課
	◆ 収縮期血圧130mmHg以上の方の 割合が県内で最も高く60.1% である。		 ◆ 食塩のとりすぎが 体に与える影響を 伝える ◆ 食塩を控えた食事 の工夫や調理法を ◆ 食塩をかきする (H28から項目追加) ・食推地区活動の実施を 増加させる 増加させる 増加させる 増加させる を種イベント等では では報や食育メモによる (大変を使えた食事 の工夫や調理法を) 	の個別指導 ・食推地区活動の実施 ・ふれあい福祉健康フェアや 各種イベント等での啓発 ・広報や食育メモによる啓発 ・生活習慣病予防のための		住民福祉課・食推 住民福祉課・食推 住民福祉課・総務課 住民福祉課											
	◆ 野菜を毎食食べる人の割合が 男性27.2%、女性28.4%である。 野菜摂取の重要性が十分に周 知されていないのが現状。	合が増える	◆ 野菜摂取の必要性 を伝える ◆ 野菜のとりかた(適	◆ 野菜を毎食食べる人の割合 男性 女性	27. 2% 28. 4%	28% 29%	特定健診質問票	・生活習慣病予防のための料理教室での啓発 ・商工会における事業所健診の場を活用した健康づくり普及啓発		住民福祉課 関川村商工会							
	 朝食を欠食する人の割合が高い傾向にある保育園・小中学校保護者14.8% 週3回以上朝食を抜く人 6.8% (男性7.2%、女性6.5%) 	健康日本21(第2次)に合わせ、実績 値等を勘案し、10年で現状値から5		◆ 朝食を欠食する人の割合 保育園児・小学生・中学生の保護者 平成26年度特定健診受診者 商工会健康教育における健診受診者	6.8%		「食」に関するアンケート特定健診質問票商工会アンケート										

. , ^^			844.	評	価指標			実施	哲計画	
ライフステージ 	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015年	目標値 (2025年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
高齢期	◆ 低栄養傾向(BMI20以下)の高 齢者(65歳以上)の割合が高い 平成26年度日常生活圏域ニーズ調査 200人/1993人→10.0%	齢者(65歳以上)の割合が増え ない	事バランスの大切 さを伝える		10.0%	10%未満	日常生活圏域ニーズ調査	・地域の茶の間の実施 ・食推地区活動の実施 ・男しょの会(料理教室)実施による啓発 ・1人暮し、高齢者世帯訪問による啓発	現 現 現 現	社会福祉協議会 住民福祉課・食推 住民福祉課・食推 地域包括支援センター・社会福祉協議会 地域包括支援センター・社会福祉協議会
	◆ 1人暮し、高齢者世帯で欠食す る人の割合は0.75%である	◆ 1人暮し、高齢者世帯で欠食す	▶ 1人暮し等の食の 自立支援対策を整	◆ 1人暮し、高齢者世帯で欠 食する人の割合	0. 75%	0%	日常生活圏域ニーズ調査	・配食サービスの充実 ・ふれあい福祉健康フェアや各種 イベント等での啓発	現 現	社会福祉協議会住民福祉課・食推
	◆ 65歳以上の高齢者で欠食する 人の割合は4.5%である	◆ 65歳以上の高齢者で欠食す る人の割合が減る 健康日本21(第2次)に合わせ、 実績値等を勘案し、10年で現状 値から5%減少させることとし て算定		◆ 65歳以上で欠食する人の 割合	4. 5%	0%		・保健センター健康相談での個別指導 ・広報や食育メモによる啓発	現(拡充)	住民福祉課・総務課
	◆ 65歳以上の高齢者で毎食野菜 を食べる人の割合が81.6%で ある			◆ 65歳以上で毎食野菜を食べる人の割合	81.6%	90%	日常生活圏域ニーズ調査			

関川村健康づくり計画(運動分野)

長期目標	◆子供の頃から楽しく正しい運動習慣を身につける。
(望ましい姿)	◆いつまでも若々しく、体力を維持する。
	◆運動不足からくる生活習慣病を減らす。
中期目標	◇運動を長続きさせる。
	◇家族ぐるみ、集落単位で運動習慣をもつ。

ライフ					評価指	標		3	 	
ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 2025 年	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現の 別	実施主体
乳幼児期	◆保育園児の遊びの状況 ・体を使った遊びや、毎日外遊びをする子が 少ない。 ・保護者も、体を使った遊びや外遊びの経験	◆子どもが体の上手な使い方を分かり、体を使った遊びや、毎日外遊びをする子が増える。 ◆保護者と毎日体を使った遊びが増える。	◆体の上手な使い方や、体を 使った遊び方の指導・紹介を する(保育園での運動プログ ラムやラジオ体操出前講座 等)	◆晴天時の遊び場 所: 家+家と外 半々 ◆体を使った遊び	71.5%	68%	◆健康づくりアンケ ート	◆保育園で体の 上手な使い方の 運動プログラム指 導の実施	現	住民福祉課 保育園
	が少ない。(ゲーム世代)	ん る。	寺)	●体を使うた逝び 頻度: 2~3日/回+10分 以内/日	34.8%	減少 させる (頻度を 増やす)		◆体を使った遊び の普及	現	保育園 子育 て 支 援 センター
				◆主な遊び方: 家でゲーム・絵本	6.3%	減少 させる		◆ラジオ体操出前 講座	新	保育園 教育課
	◆子育て支援センターの状況 ・遊びの場を提供する子育て支援センター への参加が少ない。特にO歳児が少ない。	◆O歳児から子育て支援センターに参加する。	◆妊娠期からの子育て支援 センター事業周知(広報、健 診等で)	◆子育て支援セン ター参加率	H26 年度 平均 2.2 人/ 日	3 人/日以上	◆子育て支援セン ター活動報告	◆妊娠期からの 子育て支援センタ 一事業周知(広 報、健診等で)	現	子育て支援 センター 住民福祉課 保育園
	◆保育園の体を使った運動等の状況 ・親子行事:遠足、運動会、登山等 ・ラジオ体操:プール時実施		◆乳児期からの体力づくり指 針検討、視察					◆乳児期から一 貫した体力づくり 指針検討(保育園 視察)	新	子育て支援 センター 住民福祉課 保育園
	◆保育園児の肥満度 ・肥満出現率が高い。	◆肥満出現率が上がらないよう、子が体を使った遊びや外遊びの運動習慣をもつ。	◆施設や遊具の整備	◆肥満児の割合 肥満度 15%~ 30%	男子 5.0% 女子 6.0%	減少 させる	◆小児肥満等発育 調査	◆運動施設、遊具 の環境整備と周 知	現	建設環境課教育課

ライフ					評価指	標		実施	計画	
ステージ	現状と課題	保健行動の対策	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新·現 の別	実施主体
学童	◆小中学生 ・外遊びや体を使った遊びをする子が少ない。 ・運動を好きではない中学生が1割を超えて	◆運動や体を使った活動の楽しさを知り、外遊びや活動をする子が増える。	◆小中学校での取り組み視察、 連携(小学校の元気アップ週間、 保健委員会や体力向上便り等)	◆天気のよい日の遊び場所:(小学生) 家、家と外の半々	71.5%	70%以下	◆健康づくりアン ケート ◆生活実態等調 査	◆学校の取り組み視察、協力、連携	新	運動部会 教育委員会 小中学校
思春期	いる。		◆体力づくり指針検討	◆体を使った遊びの 頻度:			且	◆体力づくり指針検 討	新	住民福祉課
	・運動時間の減少、体を使う活動の普及や 運動機会の確保が課題である。		◆学校や保護者へ情報提供 ・運動部会事業等の周知 ・運動習慣について	2~3 日に 1 回位+毎 日 10 分以内 (小学生) ◆体を動かす事は好 きか?:(中学生)	52.0%	減少させる (頻度を増や す)		◆学校、保護者へ情報提供 ・たより掲載・親子参加事業のチラシ配布	新	住民福祉課 教育課 小中学校
				いいえ	11.6%	9%以下				
	◆屋内で携帯、ゲーム機やパソコン等で遊 ぶ中学生が多い。		◆運動環境·体育設備の周知、 整備	◆TV、DVD、ゲー ム・パソコン等:				◆運動環境·体育設 備の周知、整備	現	教育課 建設環境課
				3時間/日以上 小学生 中学生	13.0% 38.2%※	10%以下 33%以下	※中学生は TV・ DVD と、PC・携帯・ ゲーム機の合計%	◆小中学校での体力 向上の取り組み	現	小中学校 教育委員会
	◆小中学生の肥満度 ・郡市や県平均よりも高い。 ・バス通学による歩数減少の影響が心配さ	- ◆肥満児の割合が減る。 -		◆肥満度(20%以上) の割合 小学生男子	10.4%		◆学校保健統計 資料			
	れる。			小学生女子 小学生男子 中学生男子 中学生女子	14.4% 14.7% 14.5%	減少させる				
	◆小中学生の体力テスト結果 ・シャトルラン:県平均より男女ともほぼ上回る。 ・体力が付いて改善した種目がある。 ・低学年や各学年毎に強化すべき種目がある。 る。	◆体力づくりの機会を習慣的にも てる。 ◆体力を維持・向上できる。		◆体力テスト:(小中学生) 握力・持久力等 (県平均比)	H26 年 ・握力(小学 生): 3年男女が平 均未満。					
					・シャトルラ ン、50m走: 男女ともほぼ 県平均以上。					

ライフ					評価	指標		実施計	<u> </u>	
ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体
壮 年 期	◆特定健診問診結果 ・運動習慣や身体活動のある割合が少ない。	◆体力維持向上のため、運動を習慣 にする人が増える。	◆トレーニングマシーン設置 検討	◆運動習慣のある 人の割合	H26 30.3%	32%	◆ 特 定 健 診 「標準的な質 問票」結果	◆トレーニングマシーン設 置検討	新	教育課
	※運動習慣とは… 30分以上の運動を、週2回以上実施し、1 年以上持続		◆運動施設の整備、周知	◆身体活動のある 人の割合	51.0%	53%		◆運動施設の整備、周知	現	教育課 建設環境課 住民福祉課
_	※身体活動とは… 日常生活において歩行又は同等の身体 活動を1日1時間以上実施(家事・労働・ 通勤・趣味などの生活活動と運動に分か れる) ◆平均歩数モニター結果 ・車社会であり、運動不足や一日総歩数に 差がある人がいる。	◆意識して歩き、歩数が増える人が 増える。	◆情報提供・事業の周知強 化	◆3日間歩数平均 値	(上関、 湯沢郷) 男性 7967 歩 女性 7986 歩	男性 8050 歩 女性 8050 歩	◆地区歩数モ 二タ一平均値	◆情報提供・周知強化 ・公民館等の運動事業 ・体力測定の機会 ・ウォーキングロード・マップ、カード ・親子参加型の運動事業	現	教育課
	◆ラジオ体操 ・ラジオ体操を毎日する人が少ない。 ・退職後男性、60歳代前の女性への普及が	◆ラジオ体操を毎日習慣にする人が 増える。	◆ラジオ体操の地域普及啓 発と実施の強化	◆ラジオ体操実施 状況 ・事業所アンケ―ト	_	13%	◆事業所アン	◆ラジオ体操の普及、実施 強化 ・無線放送の継続	現	住民福祉課 総務課
	課題。 ・男性:職場等での実施が多く、退職以降は継続しない。 ・女性:実施する人は、60歳代以降の人が多い。			・運動についてのア ンケート	3.9%	増加させる	ケート ◆運動につい てのアンケート	・夏休み小学生ラジオ体操の地域強化。健推との連携継続。 ・地域の茶の間での実施	現現	健康づくり 推進員 住民福祉課 社会福祉協 議会
	◆運動についてのアンケ―ト結果 ・40,50歳代:運動を始める人は、正しい知識 がない人が多い。 ・働く男性:時間に余裕がなく、運動習慣の									包括支援センター 住民福祉課 教育課
-	ある人が少ない。 ◆特定健診結果(H26)	◆運動を継続し、健診結果が改善す	◆40~60 代男性への取り組 み強化		H26		◆特定健診	◆事業所、商工会、学校PT A等への情報提供、周知強	新	住民福祉課 教育課
	・肥満:60 代男性は4割。性差がある。 ・脂質代謝異常:35 歳以降は約5割以上。 ・糖代謝異常:40歳以降は4割以上。 ◆健診の異常放置者がいる。	る人が増える。	・興味をもって参加できるきっかけづくり、場所・時間帯・内容の検討	·肥満割合 (BMI25 以上) ·脂質代謝異常 (保健指導以上)	30.8% 57.7%	28.5% 56%	「標準的な質問票」結果	化		
	▼降砂の美市派自治がいる。		◆特定健診結果返却の際の 運動指導、運動事業の周知	·血糖値異常 (保健指導以上)	44.7%	43%		◆特定健診結果返却の際の運動指導、運動事業の周知・村民健康ウォーキング・歩く!健康教室等	現	住民福祉課

ライフ					評価	指標		実施	実施計画			
ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業(対象·内容·回 数等)	新・現 の別	実施主体		
高齢期	◆運動習慣の調査結果 ・男女とも運動習慣がある人の割合が少ない。 ・できそうな運動:ウォーキング・TV 体操が多い。 ・運動の必要性を8割が感じているが、取り	◆介護予防を含めて、ラジオ体操など の運動を習慣にする人が増える	◆ラジオ体操の普及、実施強化	◆運動習慣ある人の 割合	計 31.5% 男性 35.9% 女性 26.7%		◆特定健診問診結果 (65歳以上) ◆高齢者運動習慣調査(高齢者レク)	◆ラジオ体操の普及、実施強化 ・茶の間:継続実施 ・高齢者レク等事業での普及・実施	現	社会福祉 協議会 地域援セセ ター 教育課		
	組めていない。 ・歳をとり、膝腰痛があると運動教室へ参加しない人が多い。							•新規地区出前講座	新	社会福祉 協議会 地域包括		
	◆日常生活圏域ニーズ調査結果(H26) ・運動器:女性や、年齢が上がる程に悪い傾向。 ・日常動作の自立割合:歩行、階段昇降、入	◆下肢筋力を維持し、15分以上歩行できる人が増える	◆運動教室や運動施設等の 情報提供、周知	◆15 分歩ける人の割合 ※非介護認定者のみ (約1300歩、距離600		計 76%	◆日常生活圏域ニ ーズ調査			支援セン ター 教育課		
	浴は自立が保たれにくい。 ◆H27「健脚うんどう日」転倒予防教室を6 地区で実施。			~800m) ◆1年間に転倒した ことがない人の割合	計 68.2%	減少させる		◆情報提供、周知・運動施設、運動教室、ウォーキングロード、カード等	現	運動部会		
	◆地域での運動教室 ・新規地区の開拓、継続が課題である。 ・地域の茶の間:ラジオ体操を実施強化中。	◆高齢者全般が、活動的で生きがいをもって生活ができる	◆地域での介護予防運動の 継続・新規地区拡大、参加し やすさの検討	◆地域の茶の間: 実施地区 参加人数	29 地区 延 3146 名	30 集落 延 3200 名		◆送迎付き運動教室 や地域の茶の間 ・継続実施 ・新規地区の拡大 ・介護予防事業と、他 運動事業との対象者 整理と周知	現	地支タ教社協は、一斉会議会		

関川村健康づくり計画(たばこ・アルコール分野)

長期目標 (望ましい姿)	◆ 「禁煙」や「節度ある適度な飲酒」に努め、健康を保つ。					
◇ 小中学生がたばこ・飲酒についての正しい知識を持つ。						
中期目標	◇ 非喫煙者をたばこによる健康被害から守るため、受動喫煙を防止する。					
	◇ たばこや多量飲酒の害を理解する。					

ライフ					評値	西指標		実施計	·画	
ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新·現 の別	実施主体
学童・思春期	◆小中学校の喫煙・飲酒防止のための教育の現状 ・小学校6年生時に1時間、薬物乱用防止教室として学校薬剤師によるたばこ・飲酒防止教育、体育の保健授業の中で、1時間、たばこ・飲酒防止教育を実施。・中学校各学年で1時間以上のたばこ教育(特に3年時には外部講師による教育)を実施。飲酒防止教育は、保健体育の学習で中学校3年生時に2時間実施。	酒しないための正し い知識を持つ小中学	◆小中学校の喫煙・飲酒防止教育のカリキュラムを見直し、実行する。 (友人等に誘われた時の断り方が具体的に身に付けられるよう、ロールプレイ実習などを取り入れる)	正しく知っている中学 生の割合(中学3年生)		100% 100% 100%	◆学習の理解度は毎年喫煙・飲酒防止教育実施後にアンケートを実施 ◆中学校で飲酒についてのアンケート実施 ◆中学校で喫煙についてのアンケート実施	・小中学校での喫煙・飲 酒防止教育 (断り方のロールプレイ 実習を取り入れる)	現	小中学校
	◆たばこを吸ったことのある小中学生はいない。(2015 年 小学 6 年生、中学 3 年生へのアンケート調査)			◆たばこを吸ったことのある中学生(中学3年生)の割合 ◆飲酒をしたことがある中学生の割合	0%	0%	◆中学校で喫煙についてのアンケート実施 ◆中学校で飲酒についてのアンケート実施			
	◆小中学生の前でたばこを吸わない大人の割合(2015年 小学校6年生、中学2年生保護者アンケート)家庭での喫煙場所がベランダや外、自室と回答した人67.6%		◆親に対して、子どもが小さい頃から、子どもの前でたばこは吸わないように伝える。	◆小中学生の前でたば こを吸わない大人の割	67. 6%	100%	◆小中学生保護者へのアンケート実施	・妊娠届時、リールット配布・2 か月の受発・アンット配・子にの子のでは、中国のののでは、中国のののでは、中国ののでは、中のでは、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が、中央が	新現 現 現 現	住住 住教小保 小 住総福祉 世界 一种 医有种 中 医 一种 一种 医 种种 种种 种种 种种种种种种种种种种种种种种种种种

- 4-					評価	指標		実施計	画	
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
青壮年期 妊産婦	◆習慣的に喫煙している人の割合が高い。 30~79歳男性 35.5%	◆習慣的に喫煙して いる人の割合を減ら	◆禁煙希望者に対する禁 煙支援の実施(禁煙支援	◆喫煙率	男性 35.5%	男性 26%	◆歯に関するアンケート 調査(30歳~79歳)	・禁煙支援プログラムの 提供 (特定保健指導含む)	新	住民福祉課
	30~79 歳女性 6.9% 年代別にみると、男性は 40 代が最も高	す。	外来の紹介等)		女性 6.9%	女性 4%		・特定健診結果説明時の 禁煙支援	現	住民福祉課
	く 50.6%、女性は 30 代が最も高く 13.3% である。(H27 年 2 月 30~79 歳全数調査) <県との比較>	◆喫煙しない人が受動喫煙の害を受ける機会を減らす。	◆特定健診結果説明時や 特定保健指導で禁煙支援					・禁煙外来情報の提供 (福祉健康フェアや広報 紙等)	現	住民福祉課 総務課
	特定健診標準的な質問票(40~74 歳国保 被保険者)集計結果より(H26) 男性31.5% 県平均 男性24.5% 女性4.9% 県平均 女性4.6%		◆健康教育、啓発普及 (喫煙・受動喫煙が及ぼ す健康影響、マナーを守 って喫煙する等の啓発)					・喫煙や受動喫煙が及ぼ す健康影響について啓発 普及(商工会健康診断時や 広報紙等で啓発)		住民福祉課
	,							・妊娠届時や妊産婦訪問時、赤ちゃんへ及ぼす影響を伝える。	現	住民福祉課
	◆住民が利用する村内民間飲食店の禁煙・分煙宣言施設 アチェーロ、メイクの2ヶ所(昼食時禁煙タイム)	内民間飲食店の禁		◆村内民間飲食店の禁煙・分煙宣言施設数	2ヶ所	4ヶ所	◆村内民間飲食店の禁煙・分煙宣言施設の把握	・健康づくり支援店のPR(県との協働)	現	住民福祉課
	◆毎日飲酒する人の割合が高い。 特定健診標準的な質問票(40~74 歳国保 被保険者)集計結果より(H26) 男性 54.4% 県平均 男性 53.3% 女性 10.6% 県平均 女性 10.3%	◆毎日飲酒する人の 割合を減らす。	◆特定健診結果説明時や 特定保健指導で飲酒指導 ◆健康教育、啓発普及 (多量飲酒が及ぼす健康 影響、週2日は休肝日を	◆毎日飲酒する人の割合	男性 54.4% 女性 10.6%	男性 40% 女性 7%	◆特定健診「標準的な質 問票」結果	・特定健診結果説明時、 特定保健指導時の飲酒指 導(多量飲酒が及ぼす健康影響、週2日は休肝日をつくる、 適正飲酒について等)	現	住民福祉課
	◆1日の飲酒量が2合以上の人の割合が高い。 特定健診標準的な質問票(40~74 歳国保被保険者)集計結果より(H26)	合以上の人の割合を	つくる、適正飲酒につい	◆1 日の飲酒量が 2 合以 上の人の割合	男性 23.6% 女性 4.9%	男性 15% 女性 3%	◆特定健診「標準的な質 問票」結果	・多量飲酒が及ぼす健康 影響等について啓発普及 (商工会健康診断時や広報 紙等で啓発)		住民福祉課 総務課
	男性 23.6% 県平均 男性 20.2% 女性 4.9% 県平均 女性 2.4%							・健康教育(消防団や職域、 地区健康懇談会、生活習慣病 予防のための料理教室等)		住民福祉課
								・成人式、福祉健康フェア、地区健康懇談会等で啓発(アルコール体質判定と	現	住民福祉課
								上手なお酒の付き合い方) ・妊娠届時、飲酒による リスクに関するリーフレット配布		住民福祉課

関川村健康づくり計画(歯科保健分野)

長期目標 (望ましい姿)	◆村民一人ひとりが生涯、歯と口の健康を保ち、その人らしい快適な生活を送れる。
中期目標	◇歯や口に関する正しい知識が普及し、日頃から家族みんなで適切な手入れが行える。 ◇自分の歯と口に関心をもち、むし歯や歯周病になりにくい生活習慣が身につく。

- /-					評句	西指標		実施計画		
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
乳幼児期	◆むし歯がない子の割合が県平均に比	◆幼児期にむし歯	◆むし歯予防の重要性や	◆むし歯がな			歯科疾患実態調査	乳幼児健診時の歯科指導	現	住民福祉課
	べて低い。	のない子が増え	具体的な方法 (仕上げ磨	い子の割合				(集団・個別)		
		る。	きの仕方、おやつの与え					・園主催の行事(祖父母や保護	現	住民福祉課
	むし歯のない子の割合		方等) を保護者や祖父母	2 歳児	91.1%	95.0%		者向けの研修会や参観日等)		保育園
	2歳児 91.1%(県95.6%)H25		へ伝える。	3 歳児	68.6%	80.0%		での歯科保健教育		
	3歳児 68.6%(県85.4%)H25		◆むし歯の原因や予防の	5 歳児	21.7%	35.0%		・保育園での園児への歯科保健	現	住民福祉課
	5歳児 21.7%(県65.0%)H26		ために気をつけるべき					教育		保育園
			ことを子ども達に伝え					・幼児歯科健診時のフッ素塗布	現	住民福祉課
			る。					(1歳6ヶ月時から6ヶ月		
			◆フッ素塗布・フッ化物洗					毎、4歳児まで実施)		
			口を行う。					・保育園にてフッ化物洗口(4	現	住民福祉課
			◆3歳児健診でむし歯の					歳児から卒園まで)		保育園
			ない子にメダルを配布					・「3歳児むし歯ゼロの子」広		住民福祉課
			し、広報に掲載する。					報掲載、メダル配布	現	総務課
	◆歯磨き習慣1日2回以上の子が少な	◆1日2回以上の	◆歯磨きや仕上げ磨きの	◆歯磨き1日			幼児健診問診票	・乳幼児健診時の歯科指導	現	住民福祉課
	い。	歯磨き習慣が定	必要性を保護者や祖父	2回以上の				(集団・個別)		
		着する。	母、子ども達に伝え、体	割合				・園主催の行事(祖父母や保護	現	住民福祉課
	歯磨き1日2回以上(H26年度)		験学習の場を持つ。					者向けの研修会や参観日等)		保育園
	1歳6ヶ月児 42.1%			1歳6ヶ月児	42.1%	50.0%		での歯科保健教育		
	2歳児 36.1%			2 歳児	36.1%	80.0%		・保育園での園児への歯科保健	現	住民福祉課
	3歳児 50.0%			3 歳児	50.0%	80.0%		教育		保育園
	◆仕上げ磨きが定着していない子がい	◆仕上げ磨きが定		◆仕上げ磨き			幼児健診問診票	・子育て支援センター事業(お		住民福祉課
	◆ は上げ温とが足温 ひとが はが す が る。	する。		なしまたは			列ル歴的問め来	やつ作り講習会やおかず作		子育て支援センター
	V °	/H / O 0		時々の子の				り講習会等) での歯科保健教		
	 仕上げ磨きなしまたは時々の子			割合				育		
	(H26 年度)			司口				・保育園職員への研修	新	住民福祉課
	1歳6ヶ月児 5.2%			1 歳 6 ヶ月児	5 • 2%	3.5%				保育園
	2歳児 5.5%			2歳児	5. 5%	0%		・保育園父母の会との連携(啓	新	住民福祉課
	3歳児 4.7%			3歳児	4. 7%	0 %		発等)		保育園・父母の会
	3 成元 4. 7 %			3 成児	4. 7 %	0 %				

- 1-					評价	西指標	実施計画			
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体
乳幼児期	◆間食が多い子がいる。		◆望ましい間食の内容や				幼児健診食生活ア	・乳幼児健診での指導(試食含	現	住民福祉課
		以上食べている	量を保護者や祖父母、子	回以上食べ			ンケート調査	む)		I-II-
	1日3回以上(H26年度)	子が減る。	ども達に伝える。	ている子の				・おやつ作り講習会	現	住民福祉課
	1歳6ヶ月児 26.3%			割合						子育て支援センター
	3歳児 19.0%			1 歳 6 ヶ月児	26.3%	20.0%		・園主催の行事(祖父母や保護	現	食推・母推 住民福祉課
				3歳児	19.0%	15.0%		者向けの研修会や参観日等)	-5T	保育園
				O MAJO	10.070	10.070		での歯科保健教育		KIM
								・保育園での園児への歯科保健	現	住民福祉課
								教育		保育園
								園のおたよりで啓発	新	住民福祉課
										保育園
								・保育園父母の会との連携(啓	新	住民福祉課
								発等)		保育園・父母の会
	◆よく噛まないで食べている子や噛み	◆よく噛まないで	◆よく噛むことの大切さ				食に関するアンケ	・乳幼児健診での食事指導(試	現	住民福祉課
	応えのあるものが苦手な子がいる。	食べている子や	を保護者や祖父母、子ど				− ⊦	食含む)		
		噛み応えのある	も達に伝える。	いる子の割				・子育て支援センター事業(離	現	住民福祉課
	よく噛まないで食べている子	ものが苦手な子		合				乳食講習会、おかず作り講習		子育て支援センター
	保育園児3歳以上児 20.7%	が減る。	生え方に合わせた離乳	伊本国の先 以	0.0 7.0/	15.0%		会、おやつ作り講習会)での 食事指導		
	 噛み応えのあるものが苦手な子		食や幼児食について指導する。(試食含む)	上児	20.7%	15.0%		・保育園給食で噛むことを	現	住民福祉課
	保育園児3歳以上児 1.1%		◆健診時に噛み応えのあ					意識したメニューを提供(園	-5T	保育園
	(H27 年度 食に関するアンケート結果)		る食事やおやつを紹介					総食との連携)		水口图
			する。	あるものが苦				・保育園で噛み応えのあるおや	現	住民福祉課
			◆保育園で噛み応えのあ					つを提供		保育園
			る給食メニューやおや					・保育園給食時に噛むことへの	現	住民福祉課
			つを提供する。	保育園3歳以	1. 1%	0 %		働きかけ(保育士による声掛		保育園
				上児				けや栄養士による指導)		

= / -	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策		平位	五指標		実施計画		
ライフ ステージ				評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体
学童 · 思春期	◆12歳児1人平均むし歯数が県平均 より多い。 12歳児1人平均むし歯数(H26年度)	◆12歳児1人 平均むし歯数 が減少する。	◆むし歯予防の重要性や 口腔ケアの具体的な方 法(歯磨きの仕方やデ ンタルフロスの使い	◆12歳児1 人平均むし 歯数	0.00本	0.00本	歯科疾患実態調 査	・小学校 1・3・5年生、中学校 1年 生を対象とした歯科衛生士による お口の健康教室 (歯磨きの仕方やデ ンタルフロスの使用方法、歯肉チェ	現	小中学校 教育課 住民福祉課
	0.00本(県0.48本)		方、仕上げ磨きの必要性等)を生徒や保護者に伝える。 ◆自分の口腔の状態を認					ック等も含まれる) ・歯垢染色剤による評価の実施(お口の健康教室や養護教諭による歯科 保健教育にて)	現	小中学校 教育課 住民福祉課
	◆小学生の永久歯むし歯有病率が県平 均に比べて高い。	◆小学生の永久 歯むし歯有病 率が低下する。	識できるよう、歯肉の 状態チェック等を実施 する場を持つ。	◆永久歯むし 歯有病率			歯科疾患実態調 査	・保健だよりでの啓発 ・学校にてフッ化物洗口(小学校週1 回、中学校週1回)	現 現	小中学校小中学校教育課
	有病率 (H26 年度) 小学生 10.9% (県9.4%)	A O O S T T X T	◆学校でフッ化物洗口を 行う。 ◆要観察歯を所有する生	小学生	10.9%	9.0%	# W # # # # # # #	・要観察歯のある生徒への個別指(家庭での適切なケアの指導、歯科医院への受診勧奨)	現	小中学校 教育課
	◆CO(要観察歯)所有者率が県平均に 比べて高い。	◆CO所有者率 が低下する。	徒への個別指導。	◆ C O 所有者 率			歯科疾患実態調 査 			
	CO所有者率(H26年度) 小学生 6.6%(県7.9%) 中学生 18.5%(県17.4%)			小学生 中学生	6.6% 18.5%	5. 0% 15. 0%				
	◆GO(歯周疾患要観察歯)所有者率が 県平均に比べて高い。	◆GO所有者率 が低下する。		◆GO所有者 率			歯科疾患実態調 査			
	GO所有者率(H26年度) 小学生 2.7%(県9.9%) 中学生 5.2%(県16.8%)			小学生 中学生	2. 7% 5. 2%	2.0% 4.0%				
	◆むし歯未処置歯率が県平均より高い。 未処置歯率(H26年度)	◆むし歯未処置 歯率が低下す る。(むし歯を	る生徒に対し、適切な	◆むし歯未処 置歯率			歯科疾患実態調 査	・歯科健診の結果をもとに、むし歯へ の進行を防ぐための適切なケアを 指導したり、歯科医院受診の必要性	現	小中学校 教育課
	小学生 66.7% (県33.3%) 中学生 57.1% (県25.6%)	放置せず治療 につながる)	う。(治療勧告の徹底)	小学生 中学生	66.7% 57.1%	25.0% 10.0%		を伝え受診勧奨を行う(生徒への個別指導、保護者への個別通知、学校 歯科医師との連携)		
	◆朝·夜の歯磨きが時々や磨かない子がいる。	◆朝・夜の歯磨き が時々や磨か ない子が減少	◆歯磨き等口腔ケアの重要性を伝える。(むし歯・歯周疾患予防、口	が時々や磨 かない子の			生活実態調査	・学校での歯磨きタイムの設置 ・歯科衛生士によるお口の健康教室 (小学校1・3・5年生、中学校1年生)	現現	小中学校 小中学校 教育課
	朝の歯磨きが時々や磨かない子 (H27年度) 小学生 33.4%	する。	臭予防等)	割合小学生	33.4%	10.0%		・養護教諭や担任による歯科保健教育・歯の衛生週間での保健委員会の	現 現	住民福祉課 小中学校 小中学校
	中学生 8.6%(平日) 夜の歯磨きが時々や磨かない子			中学生 ◆夜の歯磨き	8.6%	7.0%		取り組み(呼びかけ等) ・歯磨きカレンダーの活用(小学 校、長期休業時)	現	小学校
	(H27 年度) 小学生 25.9% 中学生 13.7%(平日)			が時々や磨 かない子の 割合				・保健だよりでの啓発 ・子ども料理教室での歯科保健教育 ・保護者会等での啓発	現 現 新	小中学校 住民福祉課 小中学校
				小学生 中学生	25.9% 13.7%	10.0% 7.0%				保護者会

ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標 具体的な対策	評価指標				実施計画			
			具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体
学童・ 思春期	◆よく噛まないで食べている子や噛み 応えのあるものが苦手な子がいる。 よく噛まないで食べている子 小学生 28.9%	で食べている 子や噛み応え のあるものが 苦手な子が減	(利点)を生徒や保護 者に伝える。 ◆自分の咀嚼力を認識で きるよう、咀嚼能力判	いで食べて いる子の割 合			食に関するアンケ ート	・歯科衛生士によるお口の健康教室 (小学校1・3・5年生、中学校1年生対象。講話の中に、噛むことについての効用も含まれる。5年生に咀嚼能力判定試	現	小中学校 教育課 住民福祉課
	中学生 16.3% 噛み応えのあるものが苦手な子	る。 ◆よく噛むこと	定試験を実施する場を 持つ。 ◆噛み応えのある食材を	中学生	28.9% 16.3%	20.0% 8.0%		験実施。) ・保健だより、給食だよりでの啓 発	現	小中学校
	小学生 3.9% 中学生 2.9%	を意識し、習慣化する。						・歯の衛生週間での保健委員会の取り組み(呼びかけ等)	現	小中学校
	(H27年度 食に関するアンケート結果)		◆学校給食で定期的に噛むことを意識したメニューを提供する。					・学校給食で定期的に噛むことを 意識したメニューを提供(学校 給食との連携)	現	小中学校 教育課
			上 こルド スケッ 。	小学生 中学生	3. 9% 2. 9%	0 % 0 %		・小中学校食育出前講座での指導 (小学校5年生、中学生)	現	小中学校 住民福祉課 栄養・食生活部会
								・子ども料理教室での指導 ・保護者会等での啓発	現 新	住民福祉課小中学校

= / -	現状と課題				評価	西指標	実施計画			
ライフ ステージ		保健行動の目標 具体的な対策	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現 の別	実施主体
壮年期	◆定期的に歯科健診を受診している人	◆定期的に歯科健	◆定期的に歯科健診を受	◆定期的に歯			歯に関するアン	・地区懇談会、各種イベント等での啓	現	住民福祉課
£産婦	が少ない。(30~50代)	診を受診する人	診することの重要性を	科健診を受			ケート	発 (歯科保健教育や資料配布等)		健推・食推
		が増え、自分の	啓発する。	診する人の				・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課
	定期的に歯科健診を受診している人の	歯と口に関心が	◆むし歯や歯周疾患が悪	割合						総務課
	割合(H26 年度)	もてる。	化しないうちに、歯科医					・4歳児親子歯科健診(希望する保	現	住民福祉課
	男性 21.1%		院へ受診するよう指導	男性	21.1%	30.0%		護者もその場で歯科健診を受ける		
	女性 29.2%		する。	女性	29.2%	30.0%		ことが可能)		
	(県39.8%、H24県民栄養調査)		◆子どもだけでなく保護					・歯科医院による定期受診勧奨(歯	現	住民福祉課
			者も歯科健診を受けら					周疾患検診受診時等)		歯科医師会
			れる親子歯科健診の場							
			を持つ。							
	◆歯周疾患検診(成人歯科健診、妊婦	◆歯周疾患検診を	◆節目年の人及び妊婦に	◆成人歯科健			成人歯科健診、妊	成人歯科健診(全額助成、対象:	現	住民福祉課
	歯科健診)の受診率が低い。	受診する人が増	歯周疾患検診の助成(全	診受診率	2.8%	10.0%	婦歯科健診受診	30, 40, 45, 50, 55, 60, 70 歳)		歯科医師会
		え、自分の歯と	額)を行う。				率	妊婦歯科健診(全額助成、対象)	現	住民福祉課
	成人歯科健診受診率(H26 年度)	口に関心がもて	◆歯周疾患検診を受ける					関川村に住所のある妊婦)		歯科医師会
	2.8%(県6.4%、H24県調査)	る。	ことの利点や、歯周疾患	診受診率	20.8%	30.0%		・歯周疾患検診受診勧奨(受診券と	現	住民福祉課
			と全身疾患の関係性を					ともに啓発用のリーフレットを同		総務課
	妊婦歯科健診受診率(H26 年度)		伝える。					封。各種イベントや広報等でもP		
	20.8%							Rする。)		
	◆歯周疾患チェック(特定健診時に咀	◆歯周疾患チェッ	◆特定健診時に歯周疾患	◆歯周疾患チ			歯周疾患チェッ	特定健診時、希望者全員に歯周疾	現	住民福祉課
	嚼能力判定試験または唾液潜血試験	クを受診する人	チェック(無料)の場を	ェック受診			ク受診率	患チェックと結果に基づいた個別		
	を実施)の受診率が低い。	が増え、自分の	持つ。	率	21.6%	50.0%		歯科指導を実施		
		歯と口に関心が	◆歯周疾患チェックを受					・歯周疾患チェックのPR(個別通	現	住民福祉課
	健診受診者数に対する受診率	もてる。	けることの利点や、歯周					知、広報等)		総務課
	(H27 年度)		疾患と全身疾患の関係							
	21.6%		性を伝える。							
	◆1日2回以上歯磨きをする人が少な	◆1日2回以上の	◆歯磨きや歯間部清掃用	◆1日2回以			歯に関するアン	・地区懇談会、各種イベント等での	現	住民福祉課
	い。(30~50代)	歯磨き習慣が定	器具を用いた口腔ケア	上歯磨きを			ケート	啓発(歯科保健教育や資料配布等)		健推・食推
		着する。	の重要性を伝え、具体的	する人の割				・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課
	1日2回以上歯磨きする人の割合		なケア方法を指導する。	合						総務課
	(H26 年度)		◆口腔ケアを怠ることに					・生活習慣病予防のための料理教室	現	住民福祉課
	男性 64.0%		よって生じる影響や、歯		64.0%	70.0%		での啓発(歯科保健教育や資料配		
	女性 88.1%		周疾患と全身疾患の関		88.1%	95.0%		布等)		
	◆歯間部清掃用器具(デンタルフロス、	◆歯間部清掃用器	係性を伝える。	◆歯間部清掃			歯に関するアン	・職域への介入(商工会健康診断時	現	住民福祉課
	歯間ブラシ)を使用している人の割			用器具を使			ケート	の歯科保健教育、事業所への出張	(拡大)	関川村商工会
	合が少ない。(30~50代)	が増える。		用している				出前講座等)		各事業所
				人の割合				・歯科医院での指導(歯周疾患検診	現	住民福祉課
	歯間清掃用器具を使用している人の割							受診時等)		歯科医師会
	合 (H26 年度)			男性	28.9%	40.0%		・成人式での啓発 (デンタルフロス・	現	住民福祉課
	男性 28.9%			女性	49.9%	60.0%		資料配布)		教育課
	女性 49.9%							・保育園や小中学校での保護者会や	新	住民福祉課
								役員会等での啓発(歯科保健教育		保育園
								や資料配布等)		小中学校

	現状と課題	保健行動の目標 具体		評価指標				実施計画			
ライフ ステージ			具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体	
青壮年期	◆口や歯に関して意識して行っている	◆口や歯に関して	◆口や歯を健康に保つこ	◆口や歯に関		,	歯に関するアン	・地区懇談会、各種イベント等での	現	住民福祉課	
妊産婦	ことは特にない人が多い。(30~5	意識して行って	との重要性や、歯周疾患	して意識し			ケート	啓発(歯科保健教育や資料配布等)		健推・食推	
	0代)	いることは特に	と全身疾患の関係性を	て行ってい				・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課	
		ない人が減る。	伝える。	ることは特						総務課	
	意識して行っていることは特にない人		◆地区組織等関係者(健康	にない人の				• 地区組織関係者(食生活改善推進	現	住民福祉課	
	の割合 (H26 年度)		づくり推進員や食生活	割合				員や健康づくり推進員等)への研		健推・食推等	
	男性 52.7%		改善推進員等)の歯科保					修会			
	女性 29.7%		健に対する意識が向上	男性	52.7%	35.0%		・乳幼児健診での保護者の歯の健康	新	住民福祉課	
			し、地域へ啓発できるよう研修の機会をつくる。	女性	29.7%	25.0%		も含めた歯科衛生士による集団指 導			
	◆8020運動について意味まで知っ	◆8020運動に		◆8020運			歯に関するアン	・地区懇談会、各種イベント等での	現	住民福祉課	
	ている人が少ない。(30~50代)	ついて意味まで					ケート	啓発(歯科保健教育や資料配布等)		健推・食推	
		知っている人が						・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課	
	 意味まで知っている人の割合 (H26 年		と全身疾患の関係性を							総務課	
	度)	への意識が向上	踏まえて伝える。	の割合				地区組織関係者(食生活改善推進	現	住民福祉課	
	男性 22.1%	する。	◆地区組織等関係者(健康					員や健康づくり推進員等)への研		健推・食推等	
	女性 40.1%		づくり推進員や食生活	男性	22.1%	40.0%		修会			
			改善推進員等) の歯科保	女性	40.1%	60.0%					
			健に対する意識が向上								
			し、地域へ啓発できるよ								
			う研修の機会をつくる。								

= / ¬					評価	近指標		実施計画		
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
高齢期	◆70代で1日2回以上歯磨きをす	◆1日2回以上歯	◆歯磨き等口腔ケア(歯間	◆1日2回以			歯に関するアンケ	・地区懇談会や地域の茶の間、老人	現	住民福祉課
(65 歳以上)	る人が少ない。	磨きをする70	部清掃用器具や義歯の	上歯磨きを			− ⊦	クラブの集会ややまゆり大学等、		包括支援センター
		代が増える。	手入れ、口腔清掃用スポ	する70代				各種イベントでの啓発(歯科保健		社会福祉協議会
	1日2回以上歯磨きする人の割合		ンジ等の活用) の重要性	の割合				教育や資料配布等)		教育課
	(H26 年度)		を伝え、具体的なケア方							健推・食推
	70代男性 51.6%		法を指導する。	男性	51.6%	60.0%		・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課
	70代女性 73.2%		◆口腔ケアを怠ることに	女性	73.2%	80.0%				総務課
	◆歯間部清掃用器具(デンタルフロ		よって生じる影響や、歯				歯に関するアンケ	・歯科医院での指導(歯周疾患検診	現	住民福祉課
	ス、歯間ブラシ等)を使用している	を使用する人が	周疾患と全身疾患の関	用器具を使			- F	受診時等)		歯科医師会
	人の割合が少ない。(60~70代)	増える。	係性を伝える。	用している						
				人の割合						
	歯間清掃用器具使用している人の割			0.0 / 12 12 14	0.0 =0/	4 = 004				
	合 (100 左京)			60代男性	30.5%	45.0%				
	(H26 年度)			60代女性	47.5%	50.0%				
	60代男性 30.5%			70代男性	26. 7%	45.0%				
	60代女性 47.5% 70代男性 26.7%			70代女性	34.0%	45.0%				
	70代男性 26.7% 70代女性 34.0%									
	↑ 0 N 女 任 3 4 0 7 0 1 0 N 女 任 3 4 0 7 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	◆硬くて噛みにく	◆口の健康を保つ重要性	◆硬くて噛み			歯に関するアンケ	・地区懇談会や地域の茶の間、老人	現	住民福祉課
	▼使く C咽かにくい良初かのり、母口 の食事をおいしく食べられない人	い食物がある人	▼ロの健康を保り重要性を伝え、口腔ケアやお口	▼使くと噛み			困に関するアンケート	- 地区総談会や地域の衆の間、名人 クラブの集会ややまゆり大学等、	坎	日代活性はほどの
	がいる。(60~70代)	が減る。	の体操等の具体的な方	がある人の			1	クラブの米芸ととよゆり八子寺、 各種イベントでの啓発(咀嚼能力		社会福祉協議会
	3.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0	73 1196 0 0	法を指導する。	割合				判定試験の実施、具体的な口腔ケ		教育課
	 硬くて噛みにくい食物がある人の割		◆自分の咀嚼力を認識で	1 B1 H				アやお口の体操の指導、誤嚥しな		はなった。
	合 (H26 年度)		きるよう、咀嚼能力判定	60代男性	21.5%	15.0%		いような食材の工夫についての		KEIL KIL
	60代男性 21.5%		試験を実施する。	60代女性	20.5%	15.0%		情報提供等)		
	60代女性 20.5%		◆むし歯や歯周疾患が悪	7 0 代男性	19. 1%	15.0%		・広報や食育メモによる啓発(歯科	現	住民福祉課
	70代男性 19.1%		化しないうちに歯科医	70代女性	19.6%	15.0%		医院の定期受診勧奨も含む)		総務課
	70代女性 19.6%		院へ受診するよう指導							
			する。							
	◆20本以上自分の歯を持つ70代	◆20本以上自分	◆歯磨き等口腔ケア (歯間	◆20本以上			歯に関するアンケ	・地区懇談会や地域の茶の間、老人	現	住民福祉課
	の人が少ない。	の歯を持つ70	部清掃用器具や義歯の				_ h	クラブの集会ややまゆり大学等、		包括支援センター
		代が増える。	手入れ、口腔清掃用スポ	の割合				各種イベントでの啓発(歯科保健		社会福祉協議会
	20本以上自分の歯を持つ人の割合		ンジ等の活用) の重要性					教育や資料配布等)		教育課
	(H26 年度)		を伝え、具体的なケア方	7 0 代男性	45.1%	50.0%				健推・食推
	70代男性 45.1%		法を指導する。	7 0 代女性	35.7%	40.0%		・いきいき人生よい歯のコンクール	現	住民福祉課
	70代女性 35.7%		◆口腔ケアを怠ることに					のPRと活用(エントリー者は広		総務課
			よって生じる影響や、歯					報に掲載)		
			周疾患と全身疾患の関					・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課
			係性を伝える。							総務課
			◆いきいき人生よい歯の					・歯科医院での指導(歯周疾患検診	現	住民福祉課
			コンクールのPRを行					受診時等)		歯科医師会
			う。(身近によい歯をも							
			つモデルが存在するこ							
			とで、歯や口に関心をも							
i			ってもらうため。)							
			◆8020運動の啓発を行う。							

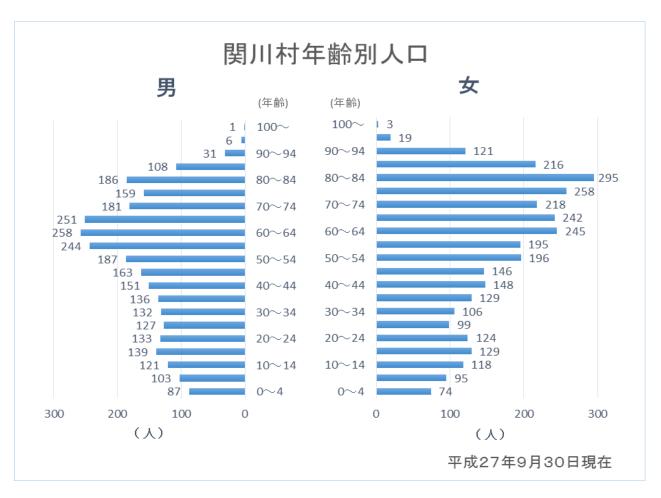
					評価	 斯指標		実施計画		
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事業の	新・現の別	実施主体
高齢期	◆8020運動について意味まで知	◆8020運動に	◆8020運動について、	◆8020運			歯に関するアンケ	・地区懇談会や地域の茶の間、老人		住民福祉課
(65 歳以上)	っている人が少ない。(60~70	ついて意味まで	口や歯を健康に保つこ	動について			- F	クラブの集会ややまゆり大学等、		包括支援センター
	代)	知っている人が	との重要性や歯周疾患	意味まで知				各種イベントでの啓発(歯科保健		社会福祉協議会
		増える。	と全身疾患の関係性を	っている人				教育や資料配布等)		教育課
	意味まで知っている人の割合		踏まえて伝える。	の割合						健推・食推
	(H21 年度)		◆地区組織等関係者(健康					・広報や食育メモによる啓発	現	住民福祉課
	60代男性 29.0%		づくり推進員や食生活	60代男性	29.0%	45.0%				総務課
	60代女性 38.2%		改善推進員等)の歯科保	60代女性	38.2%	45.0%				
	70代男性 25.7%		健に対する意識が向上	7 0 代男性	25.7%	45.0%				
	70代女性 28.9%		し、地域へ啓発できるよ	70代女性	28.9%	45.0%				
			う研修の機会をつくる。							

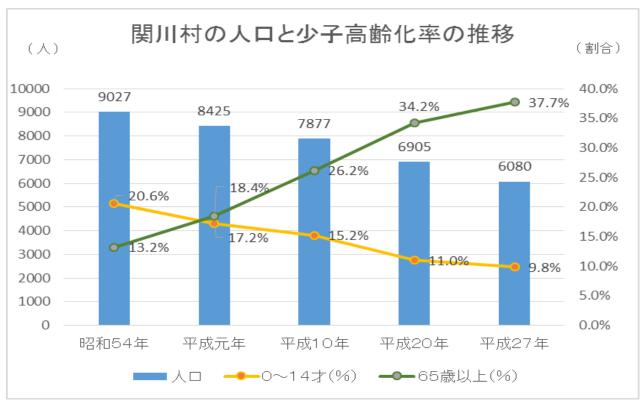
= 47					評价	西指標		実施計画	Ī	
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
要介護者	<在宅要介護者>	◆1日2回以上の	◆口腔機能向上管理加算	◆1日2回以			歯に関するアンケ	- 口腔機能向上管理加算を算定	現	介護サービス事業所
障害者	◆1日2回以上歯磨きをする人が少な	歯磨き習慣が定	を算定している介護サ	上歯磨きを			− ⊦	している介護サービス事業		社会福祉協議会
	ر١.	着する。	ービス事業所内で、歯科	する人の割				所での歯科衛生士及び口腔		
	◆歯間部清掃用器具(デンタルフロスや	◆歯間部清掃用器	衛生士及び口腔ケア担	合				ケア担当職員による口腔機		
	歯間ブラシ等)を使用している人が少	具を使用する人	当職員による口腔機能					能向上サービス(歯科衛生士		
	ない。	が増える。	向上サービスを実施す	男性	36.0%	50.0%		が利用者の口腔状態をアセ		
	◆定期的に歯科健診を受診している人		る。	女性	64.0%	70.0%		スメントし、口腔ケアや口腔		
	が少ない。	診を受診してい	◆無料訪問歯科健診(在宅					体操等の内容を職員に指導。		
		る人が増える。	要介護者等歯科保健推					職員はその指導に基づき、		
	1日2回以上歯磨きする人の割合		進事業)のPRを行う。	用器具を使				日々のケアを実施。)		
	(H26 年度)		◆介護職員やケアマネジ	用している				・高齢者福祉施設・介護サービ	現	高齢者福祉施設
	男性 40.4%		ヤーを対象に、口腔ケア	人の割合				ス事業所内での啓発(歯科保	(拡大)	介護サービス事業所
	女性 76.0%		の研修を行う。(口腔ケ	E 14	10.00			健教育や資料配布) 		社会福祉協議会
	华 <u>昭</u> 柳注与田田日 / - * > 6 .1 1 .4-		ア実地研修のPR・活用	男性	19.0%	30.0%		<u> </u>		包括支援センター
	歯間部清掃用器具(デンタルフロスや歯		も含む。)	女性	44.4%	50.0%		・介護者を対象とした歯科保健	現	高齢者福祉施設
	間ブラシ)を使用している人の割合							教育	TE	介護サービス事業所
	(H26 年度)			◆定期的に歯				・介護職員やケアマネジャーを対象とした。現像(口際ケス字)	現	高齢者福祉施設 介護サービス事業所
	男性 40.4%			科医院を受 診している				対象とした研修(口腔ケア実地研修のPR・活用も含む)		が渡り一に 人争来が 社会福祉協議会
	女性 78.0%			診している 人の割合				地研修のPR・活用も含む)		社芸価征協議会 包括支援センター
	 定期的に歯科医院を受診している人の			人の割っ						は民福祉課
	割合 (H26 年度)			男性	28.0%	35.0%				保健所
	男性 28.0%			女性	44.0%	50.0%				歯科医師会
	女性 44.0%				7 7. 0 70	00.070		・ケアマネジャーと歯科衛生士	現	ケアマネジャー
	XL + + . 0 / 0							の連携(対象者の口腔状態に	-50	/ / · · · · · · · · · · · · · · · · ·
								ついての情報共有や、口腔ケ		
								アについての相談等)		
								・無料訪問歯科健診のPR(地	現	ケアマネジャー
								域、施設、介護者の集い等)		社会福祉協議会
										包括支援センター
										住民福祉課
										保健所
	<高齢者福祉施設・介護保険サービス事業所>	◆村内の全ての高	 ◆高齢者福祉施設・介護サ	◆お口の体操			高齢者福祉施設・	・高齢者福祉施設・介護サービ	現	■ 高齢者福祉施設
	◆村内の高齢者福祉施設・介護サービス	齢者福祉施設・介	→ 同断有価値施設・介護・ 一ビス事業所へお口の	を実施して			介護サービス事業	ス事業所における食前のお	(拡大)	向断石 1曲位/記改 介護サービス事業所
	事業所における食前のお口の体操(嚥	護サービス事業	体操(嚥下体操)や口腔	いる高齢者			所への聴き取り、	口の体操(嚥下体操)	(MA)()	月成り ころデ末川
	下体操)継続実施。	所において、お口	ケアの知識を普及させ、	福祉施設・介			アンケート	・介護職員を対象とした研修	現	│ │ 高齢者福祉施設
	1 四十八次/ 中型中央人工区。	の体操が実施さ	継続実施または強化を	護サービス	8 施設	9 施設		(口腔ケア実地研修のP	-50	介護サービス事業所
	 お口の体操を実施している高齢者福祉	れる。	促す。	事業所数	(全9施設中)	o weak		R・活用も含む)		包括支援センター
	施設・介護サービス事業所(H27年度)	1000		1.2(1)2	(10,000,000,000,000,000,000,000,000,000,					社会福祉協議会
	8施設(全9施設中)									保健所
	→うち対象者全員に毎日実施している									
	施設・事業所は5施設									
									1	

						評価指標		実施計画	Į	
ライフ ステージ	現状と課題	保健行動の目標	具体的な対策	評価指標	2015 年	目標値 (2025 年)	評価方法	事 業 (対象・内容・回数等)	新・現の別	実施主体
要介護者	<障害者>	◆1日2回以上の	◆さくら工房や障害者団	◆1日2回以			歯に関するアンケ	・さくら工房や障害者団体の集	現	社会福祉協議会
障害者	◆1日2回以上歯磨きをする人が少な	歯磨き習慣が定	体の集まり(障害者の居	上歯磨きを			− ⊦	まり(障害者の居場所等)で	(拡大)	住民福祉課
	ιν _°	着する。	場所等)で、歯科衛生士	する人の割				の歯科保健教育		
	◆資格歯間部清掃用器具(デンタルフロ	◆歯間部清掃用器	による歯科保健教育を	合				・福祉健康フェアでの啓発	現	社会福祉協議会
	スや歯間ブラシ等)を使用している人	具を使用する人	実施する。							住民福祉課
	が少ない。	が増える。	◆障害者の方が多く集ま	身体・男性	46.39	6 50.0%		・歯科衛生士による在宅個別訪	新	社会福祉協議会
	◆定期的に歯科健診を受診している人	◆定期的に歯科健	るイベント(福祉健康フ	身体・女性	84.49	90.0%		問歯科指導(障害者・家族)		住民福祉課
	が少ない。	診を受診してい	ェア等)で歯科保健の啓	精神・男性	28.69	40.0%				
		る人が増える。	発を行う。	精神・女性	60.09	70.0%				
	1日2回以上歯磨きする人の割合			知的・男性	40.09	50.0%				
	(H26 年度)			知的・女性	100%	100%				
	身体									
	男性 46.3%、女性 86.7%			◆歯間部清掃						
	精神			用器具を使						
	男性 28.6%、女性 60.0%			用している						
	知的			人の割合						
	男性 40.0%、女性 100%									
				身体・男性	24.49	% 30.0%				
	歯間部清掃用器具(デンタルフロスや歯			身体・女性	43.59	6 50.0%				
	間ブラシ)を使用している人の割合			精神・男性	16. 79	% 20.0%				
	(H26 年度)			精神・女性	20.09	% 30.0%				
	身体			知的・男性	27. 39	40.0%				
	男性 24.4%、女性 43.5%			知的・女性	50.09	60.0%				
	精神									
	男性 16.7%、女性 20.0%			◆定期的に歯						
	知的			科医院を受						
	男性 27.3%、女性 50.0%			診している						
				人の割合						
	定期的に歯科医院を受診している人の									
	割合 (H26 年度)			身体・男性	43.99					
	身体			身体・女性	28.99					
	男性 43.9%、女性 28.9%			精神・男性	28.69					
	精神			精神・女性	40.09					
	男性 28.6%、女性 40.0%			知的・男性	20.09					
	知的			知的・女性	50.09	60.0%				
	男性 20.0%、女性 50.0%									

第4章 資料編

人口動態





関川村

〇 月別出生及び死亡数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	男	2	0	2	0	2	6	0	1	1	0	3	1	18
出生	女	2	2	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0	11
	計	4	2	2	1	3	7	1	3	1	0	4	1	29
	男	4	2	5	3	8	4	2	3	2	4	3	7	47
死 亡	女	5	3	9	6	5	6	3	4	5	3	6	7	62
	計	9	5	14	9	13	10	5	7	7	7	9	14	109

〇出生

	平成25年	平成26年	平成27年
男	20	10	18
女	15	13	11
計	35	23	29

〇 死因別年齢表

	年齢·性別	0~	·19	20-	~24	25	~29	30	~34	35^	~39	40	~44	45′	~49	50 <i>′</i>	~54	55 <i>°</i>	~59	60	~64	65	~69	70-	~74	75^	~79	80^	~84	85	-89	90.	以上	合	計
死因別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
悪性親	新生物												1			1		1		1		2		2		2	2	3	5	1	4		6	13	18
脳血管	管疾患																										1		1		2		4	0	8
心	疾 患																	2						1				2	2	1	2	1	1	7	5
肺炎・急	贰管支炎																			1						1		3	2	1	3	5	2	11	7
肺	疾 患																																	0	0
腎	不 全																								1								1	0	2
不慮の	の事故																					1									1			1	1
自	殺																																	0	0
老	衰																													2	6	2	12	4	18
そ (の他													1		1				2	1	2	1			1			1	3			1	10	4
合	計												1	1		2		3		4	1	5	1	3	1	4	3	8	11	8	18	8	27	46	63

〇 死因順位表

36

※ 総数、男、女および計の数字単位は(人)です

年度	総数			第	1位					第2	2位					第	3位		
			į	悪性新	折生物]			肺炎	き及び	気管.	支炎				そ(の他		
平成23年	107	男	13	女	12	計	25	男	6	女	13	計	19	男	4	女	8	計	12
				23	.4%					17	.8%					11	.2%		
			7	悪性業	折生物	J			肺炎	き及び	気管:	支炎				心	不全		
平成24年	100	男	19	女	9	計	28	男	9	女	5	計	14	男	4	女	9	計	13
				28	.0%					14	.0%					13	3.0%		
			į	悪性新	沂生 物]				老	衰					心	疾患		
平成25年	111	男	17	女	11	計	28	男	4	女	17	計	21	男	9	女	8	計	17
				25	.2%					18	.9%					15	5.3%		
			į	悪性新	近生物]				老	衰					心	疾患		
平成26年	105	男	12	女	12	計	24	男	5	女	16	計	21	男	9	女	12	計	21
				22	.9%					20	.0%					20	0.0%		
			-	悪性新	近生物]				老	衰				肺	炎及ひ	気管	支炎	
平成27年	109	男	13	女	18	計	31	男	4	女	18	計	22	男	11	女	7	計	18
				28	.4%					20	.2%					16	6.5%		

特定健診結果

平成 26 年度特定健診結果有所見者の割合(保健指導判定値以上):参考値 参考資料:新潟県国保連合会事業課

1). 合計

			腹囲			BMI		HbA	1c (NGS	SP)	収	縮期血	土	拡	張期血	王	¢	性脂肪	5	LDL ⊐	レステロ	コール	尿	たんぱ	<	血清な	フレアチ	ニン	メタ	ボ判定	結果
条件	受診者 合計	男性 85 以上 女性 90 以上			2	25 以上		5	. 6 以上	-	13	30 以上		8	35 以上		1	50 以上	-	1:	20 以上	<u>=</u>	Г	+」以	上		E 1. 2 以 E 1. 0 以		「基	準該当	当」
		<u> </u>		割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合
関川村	552	551			552	170	30.8	552	365	66. 1	552	332	60. 1	552	150	27. 2	552	181	32. 8	551	237	43. 0	551	8	1.5	419	8	1.9	552	118	21.4
市町村計	172, 994	172, 460	48, 633	28, 2	172, 971	39, 171	22, 6	172, 509	105, 326	61, 1	172, 973	73, 590	42, 5	172, 971	35, 258	20, 4	172, 984	44, 663	25, 8	172, 983	82, 208	47. 5	172, 804	5, 828	3. 4	165, 145	2, 967	1.8	172, 994	28, 378	16. 4

2). 男性

			腹囲			BMI		HbA	1c (NGS	P)	収	縮期血	圧	拡	張期血り	王	4	性脂肪	方	LDL ⊐	レステロ	コール	尿	たんぱ	<	血清ク	フレアチ	ニン	メタ	ボ判定	結果
条件	受診者 合計		生 85 以 生 90 以		2	25 以上		5.	6 以上		1	30 以上		8	85 以上		1	50 以上	<u>:</u>	1	20 以上		Γ-	+」以.	Ł		1.2以 1.0以		「基	基準該当	áJ
		女性 90 以上		割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合				受診者	有所見	割合												
関川村	267	267	124	46. 4	267	104	39. 0	267	179	67. 0	267	173	64. 8	267	98	36. 7	267	114	42. 7	266	102	38. 3	267	8	3. 0	213	7	3.3	267	86	32. 2
市町村計	76, 977	76, 835	33, 412	43, 5	76, 966	20, 286	26. 4	76, 769	45, 935	59. 8	76, 964	35, 773	46. 5	76, 964	20, 219	26. 3	76, 972	24, 240	31.5	76, 970	32, 480	42. 2	76, 893	3, 901	5. 1	72, 835	2, 199	3. 0	76, 977	19, 346	25. 1

3). 女性

			腹囲			BMI		HbA	1c (NGS	P)	収約	縮期血	王	拡	張期血	圧	4	中性脂肪	方	LDL ⊐	レステロ	ール	尿	たんぱ	<	血清ク	フレアチ	ニン	メタ:	ボ判定	結果
条件	受診者 合計	男性 85 以上 女性 90 以上			2	25 以上		5	. 6 以上		13	30 以上	-	w	35 以上		1	50 以上	=	1:	20 以上		٢٠	+」以.	Ŀ		1. 2 以 1. 0 以		「基	ᅸ進該当	áΙ
				受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合																
関川村	285	284	42	14. 8	285	66	23. 2	285	186	65. 3	285	159	55. 8	285	52	18. 2	285	67	23. 5	285	135	47. 4	284	0	0.0	206	1	0.5	285	32	11. 2
市町村計	96, 017	95, 625	15, 221	15. 9	96, 005	18, 885	19. 7	95, 740	59, 391	62. 0	96, 009	37, 817	39. 4	96, 007	15, 039	15. 7	96, 012	20, 423	21. 3	96, 013	49, 728	51.8	95, 911	1, 927	2. 0	92, 310	768	0.8	96, 017	9, 032	9. 4

平成 26 年度特定健診結果「標準的な質問表」の集計:参考値参考資料:新潟県国保連合会事業課

1). 合計

				服	.薬状沉	ļ									既往	主歴															生	活習慣										
条	高血	王服薬	あり		服薬あ		脂質	服薬	あり	脳血管	疾患既往	≣あり	心疾	患既往	あり	腎疾	患既往	あり	貧血()	既往含む)あり	喫煙	習慣を	あり	30 分以	上の運動習慣	貫あり	身体活動	1日1時間」	以上あり	週 3 回以	人上朝食を	抜く人	毎日食	炊酒をす	る人	飲酒量	∜が 2 合以_	上の人	十分睡	睡できてい	る人
111	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合
関 川 村	552	232	42. 0	552	リン注射合む) 有所見 割合 受診 43 7.8 552		552	118	21. 4	446	9	2. 0	446	22	4. 9	446	1	0. 2	447	50	11.2	551	98	17. 8	445	135	30. 3	443	226	51.0	438	30	6.8	445	147	33. 0	301	52	17. 3	439	368	83. 8
市町村計	172, 970	59, 979	34. 7	172, 965	11, 669	6. 7	172, 968	41, 892	24. 2	171, 222	6, 838	4. 0	171, 159	8, 141	4.8	171, 247	668	0. 4	171, 058	20, 782	12. 1	172, 966	23, 203	13. 4	154, 932	57, 532	37. 1	154, 989	94, 339	60. 9	155, 020	9, 046	5. 8	158, 205	46, 565	29. 4	127, 302	14, 470	11. 4	153, 722	124, 815	81. 2

2). 男性

				服薬状況																				生	活習怕	貫																
条	高血	圧服薬	薬あり				脂質	服薬	あり	脳血管	营疾患既 往	Ėあり	心疾	患既往	あり	腎疾	患既往	あり	貧血(月	既往含む)あり	喫煙	E習慣	あり	30 分以	以上の運動習	慣あり	身体活動	1日1時間」	以上あり	週3回	以上朝食を	∵抜く人	毎日館	飲酒をす	├る人	飲酒量	量が 2 合以_	上の人	十分睡	眠できて	ハる人
14	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合
関川村	267	122	45. 7	267	25	9. 4	267	31	11. 6	228	8	3. 5	228	14	6. 1	228	1	0. 4	228	12	5. 3	267	84	31.5	228	75	32. 9	226	126	55. 8	223	16	7. 2	228	124	54. 4	199	47	23. 6	224	186	83. 0
市町村計	76, 968	30, 585	5 39.7	76, 965	7, 095	9. 2	76, 967	13, 784	17. 9	76, 181	4, 192	5. 5	76, 159	5, 283	6.9	76, 184	420	0.6	76, 128	4, 150	5. 5	76, 968	18, 830	24. 5	68, 818	26, 870	39. 0	68, 842	41, 344	60. 1	68, 797	5, 161	7. 5	70, 365	37, 474	53. 3	64, 163	12, 981	20. 2	68, 322	56, 758	83. 1

3). 女性

			(インスリン注射含む) 見 割合 受診者 有所見 割合																				生	活習怕	貫																	
条	高血	圧服薬	あり				脂質	服薬を	あり	脳血管	奈患既往	主あり	心疾	患既往	あり	腎疾	患既往	あり	貧血(月	既往含む)	あり	喫煙	習慣な	あり	30 分以	以上の運動習慣	慣あり	身体活動	1日1時間	以上あり	週3回	以上朝食を	抜く人	毎日館	炊酒をす	⁻ る人	飲酒量	₫が 2 合以」	上の人	十分睡	寒できてい	いる人
111	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合	受診者	有所見	割合
別村	285	110	38. 6	285	18	6. 3	285	87	30. 5	218	1	0.5	218	8	3.7	218	0	0.0	219	38	17. 4	284	14	4. 9	217	60	27. 6	217	100	46. 1	215	14	6. 5	217	23	10. 6	102	5	4. 9	215	182	84. 7
市町村計	96, 002	29, 394	30. 6	96, 000	4, 574	4. 8	96, 001	28, 108	29. 3	95, 041	2, 646	2.8	95, 000	2, 858	3.0	95, 063	248	0. 3	94, 930	16, 632	17, 5	95, 998	4, 373	4. 6	86, 114	30, 662	35, 6	86, 147	52, 995	61, 5	86, 223	3, 885	4. 5	87, 840	9, 091	10.3	63, 139	1, 489	2. 4	85, 400	68, 057	79. 7

栄養・食生活分野

【保育園】平成27年7月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【表】

N=112 回収率

● お子さんについてお聞きします

I. 生活状況について 関1 お子さんの年齢は

<u> 印 わ 十 (</u>	さんの午野に	<u>, </u>				
	3歳未満児	年少児	年中児	年長児	無回答など	•
割合(%)	22.3	22.3	28.6	26.8	0.0	100
人数(人)	25	25	32	30	0	

問2 朝起きる時間は何時ですか

	6時前	6時過ぎ	7時過ぎ	8時過ぎ	無回答など	•
割合(%)	8.9	83.0	8.0	0.0	0.0	100
人数(人)	10	93	9	0	0	

問3 夜寝る時間は何時ですか

	אנין יטונהן נייש	· 1 C / / 0					
	8時前	8時過ぎ	9時過ぎ	10時過ぎ	11時すぎ	無回答など	100
割合(%)	2.7	21.4	63.4	11.6	0.0	0.9	
人数(人)	3	24	71	13	0	1	

問4 睡眠不足

	ほとんど感じていない	時々感じている	いつも感じている	無回答など	
割合(%)	60.4	36.9		0.0	100
人数(人)	67	41	3	0	111

人数(人)	67	41	3	0	111
Ⅱ. 食生活につ	ついて				

問5 朝食は食べていますか

Inlo	+/1 TX	1975 - 60.0	N 7 13				
		毎日食べる	週5~6日は食べる	週3~4日は食べる	週1~2日は食べる	全く食べない	無回答など
割合	ì(%)	95.5	3.6	0.9	0.0	0.0	0.0
人数	(人)	107	4	1	0	0	0

問6 主食は主に何を食べていますか

	<u> </u>	2 2007	75			
	ごはん	パン	めん	その他	食べない	無回答など
割合(%)	83.1	16.9	0.0	0.0	0.0	0.0
人数(人)	98	20	0	0	0	0

問7 主食の他には、主に何を食べますか

	ひっぱっちくユ	<u> </u>	5713						
	主菜	副菜	汁物	牛乳	果物	デザート	その他	食べない	無回答など
割合(%)	77.7	51.8	63.4	39.3	34.8	25.9	0.0	0.9	0.0
人数(人)	87	58	71	44	39	29	0	1	0

100

100

<u>量は決めていますか</u>

100割合(%)

100

111

100

人数(人)

はい

いいえ

100

54

59.32203

無回答など

100

※デザートの具体例(3ヨーグルト14人、プリン1人、ゼリー3人、アイス2人、ジョア1人、ヤクルト4人

※その他の具体例(延・野菜ジュース1人

<u>問8-1 ここ1ヶ月くらいの間で、食事をひとりで食べたことがありましたか</u>

	はい	いいえ	無回答など	
割合(%)	20.5	77.7	1.8	100
人数(人)	23	87	2	

問8-2 いつひとりで食べたことがありましたか(はいのみ)

	朝食	昼食	夕食	その他	無回答など	
割合(%)	46.2	20.5	33.3	0.0	0.0	100
人数(人)	18	8	13	0	0	39

問9 間食は1日何回食べていますか

【平日】						
	1回	2回	3回	3回以上	食べない	無回答など
割合(%)	39.3	49.1	10.7	0.9	0.0	0.0
半上/ \	4.4		10	1	•	0

	一旦	긷븨	9回	이비사工	及べるい	無凹合なC
割合(%)	39.3	49.1	10.7	0.9	0.0	0.0
人数(人)	44	55	12	1	0	0

【休日】						
	1回	2回	3回	3回以上	食べない	無回答など
割合(%)	18.9	50.5	18.9	8.1	0.0	3.6
人数(人)	21	56	21	9	0	4

問10 ジュースは飲みますか

	毎日飲む	週5~6日は飲む	週3~4日は飲む	週1~2日は飲む	全く飲まない	無回答など
割合(%)	33.0	10.7	21.4	27.7	4.5	2.7
人数(人)	37	12	24	31	5	3

問11 夕食後に間食や夜食は食べますか

【平日】

	いつも食べる	たまに食べる	食べない	無回答など	
割合(%)	11.6				100
人数(人)	13	66	29	4	

【休日】

	いつも食べる	たまに食べる	食べない	無回答など	
割合(%)	16.1	58.9	18.8	6.3	100
人 迷ケ(人)	1.0	66	21	7	

問12-1 好き嫌いはありますか

		70 7 73		
	はい	いいえ	無回答など	
割合(%)	59.8	37.5	2.7	100
人数(人)	67	42	3	

<u>問12-2「はい」のみ嫌いな物に〇をつけてください</u>

	魚	肉	卵	豆類	牛乳·乳製品	野菜	果物	その他	無回答など
割合(%)	5.6	7.9	6.7	5.6	7.9	51.7	4.5	10.1	0.0
人数(人)	5	7	6	5	7	46	4	9	0

※その他の具体例:きのこ類 3人、納豆 2人 以下1人…ピーマン、ハンバーグ、すっぱいもの、味付けによる、いろいろ、食べる時と食べない時あり 6.25 5.3571429 4.4642857 6.25 41.071429 3.571429 8.0357143 4.4642857

100

<u>問13 噛みごたえのある物はどのくらいの頻度でたべますか</u>

	毎日食べる	2~3日に1回は食べる	1週間に1回は食べる	苦手で食べない・食べられない	無回答など	
割合(%)	7.1	36.6	49.1	2.7	4.5	100
人数(人)	8	41	55	3	5	

問14 食べるスピードは他のお子さんとくらべてどうですか

	早い	ふつう	遅い	無回答など
割合(%)	8.9	60.7	27.7	2.7
人数(人)	10	68	31	3

問15 よく噛んで食べていますか

同10 BC個70 C及 · CV·B y //									
	はい	いいえ	無回答など						
割合(%)	74.1	22.3	3.6	100					
人 坐ケ(人)	83	25	1						

39

平成27年7月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【表】

Ⅲ. 運動習慣について 問16 天気のよい日はどこで遊びますか

	家の中で遊ぶことが多い	家の中と外と半々	外で遊ぶことが多い	無回答など	
割合(%)	3.6		25.9	2.7	100
人数(人)	4	76	29	3	

問17 からだを使った遊びはない日どのくらい行っていますか

	2~3日に1回位	毎日10分以内	毎日30分以内	毎日30分以上	その他	無回答など	
割合(%)	20.5	14.3	24.1	35.7	1.8		100
人数(人)	23	16	27	40	2	4	

※その他の具体例:保育園で遊んでいると思います2 以下1名…しない、未記入

問18 どのような遊びが多いですか

	家の中でゲームや絵本	家の中で追いかけっこなど体を使う遊び	外で自転車・ボール遊びなど体を使う遊び	その他	無回答など	
割合(%)	6.3	39.1	40.6	11.7	2.3	100
人数(人)	8	50	52	15	3	128
シノスの地へ		ᆂᄹᇰᅔᇎᄵᆟᅩᅥᅟᆂᄧ	ロウト 光下・一・一・ コ	いはっこっし	#4-1-01 3	ユロム・ローデニシー・

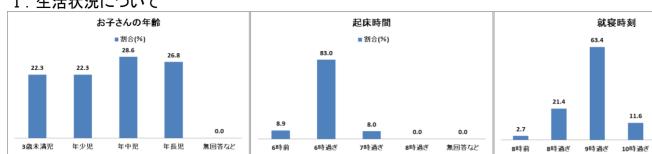
※その他の具体例:工作パズル絵1人、虫取り2人、戦いごっこ1人、かけっこ3人、散歩2人、滑り台1人、ブランコ1人 土いじり1人、水遊び1人、家の中で体を使う遊び2人、ブロック遊び2人、変身ごっこ1人

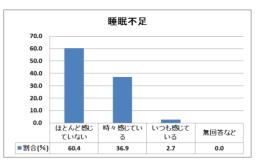
ローラーボード1人、スケボー1人、スキー1人、ボール遊び1人 問10 テレビやDVD・ビデオなどを目ろ時間とゲームをする時間を合わせるとどのくらいですか

<u>.問19 テレ</u>	<u>にやDVD・ヒ</u>	ナオなとを見	見る時間とケ	ームをする	時間を合わ	せるとどのく	らいですか
	毎日は見ない・しない	毎日1時間未満	毎日2時間未満	毎日3時間未満	毎日3時間以上	無回答など	
割合(%)	9.1	39.1	27.3	17.3	4.5		100
人数(人)	10	43	30	19	5	3	110

【保育園】平成27年7月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【グラフ】

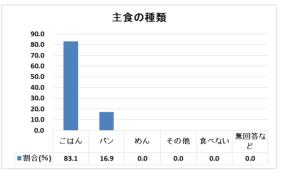
I. 生活状況について

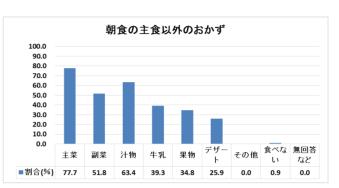


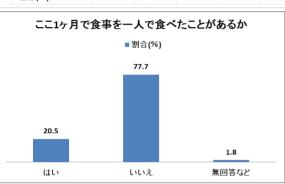


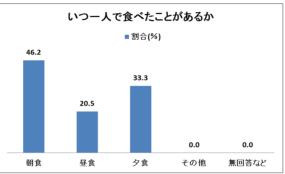
Ⅱ. 食生活について

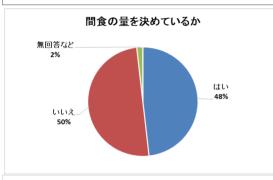




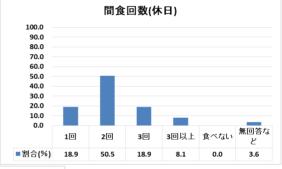


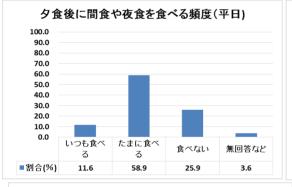


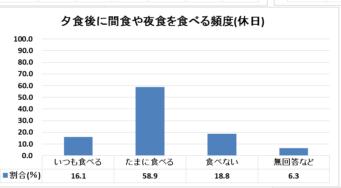


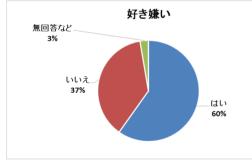


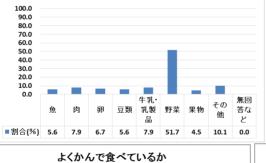






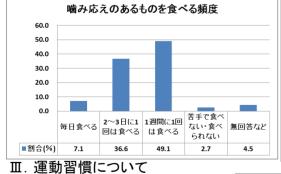


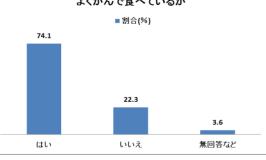


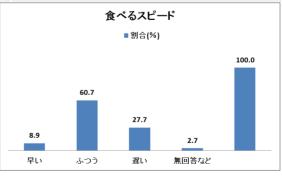


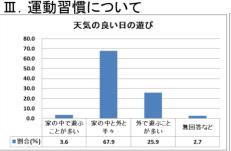
嫌いな食べ物の種類



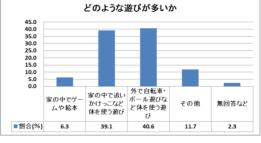














【小学校】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【表】

N= 232 回収率 78.9%

● お子さんについてお聞きします

I. 生活状況について

問1 お子さんの学年は

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	無回答など	
割合(%)	17.7	11.2	18.1	15.1	19.8	17.2	0.9	100
人数(人)	41	26	42	35	46	40	2	232

問2 朝起きる時間は何時ですか

		6時前	6時過ぎ	7時過ぎ	8時過ぎ	無回答など	
듿	割合(%)	6.5	87.4	3.9	0.0	2.2	100.0
	人数(人)	15	202	9	0	5	231.0

Ⅱ. 食生活について

問3. ここ1ヶ月くらいの間で、食事をひとりで食べたことがありましたか 問3-2 いつひとりで食べたことがありましたか(はいのみ)

ii]3. ∟∟	11 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1									
	はい	いいえ	無回答など			朝食	昼食	夕食	その他	無回答など
割合(%)	20.3	78.4	1.3	100.0	割合(%)	12.1	0.0	0.0	0.0	1.7
人数(人)	47	182	3		人数(人)	28	0	0	0	4

問4 間食は1日何回食べていますか

【平日】 3回 食べない 無回答など 2回 3回以上 割合(%) 75.4 15.1 0.4 0.9 0.9 人数(人) 175 17 35

	里は次のしいる	チ タ ル ソ				
		はい		いいえ	無回答など	
100.0	割合(%)		29.6	62.2	8.3	100.0
	人数(人)		68	143	19	230.0

100.0 180.0

具け込みていますか

【休日】

	1回	2回	3回	3回以上	食べない	無回答など
割合(%)	30.6	47.4	13.4	4.7	1.7	2.2
人数(人)	71	110	31	11	4	5

100.0

問5 ジュースは飲みますか

	ハは妖のなり	73 ·				
	毎日飲む	週5~6日は飲む	週3~4日は飲む	週1~2日は飲む	全く飲まない	無回答など
割合(%)	17.2	11.6	28.4	37.9	3.9	0.9
人数(人)	40	27	66	88	9	2

100.0

100.0

100.0 264.0

問6 夕食後に間食や夜食は食べますか

【平日】

	いつも食べる	たまに食べる	食べない	無回答など
割合(%)	13.4	59.9	25.4	1.3
人数(人)	31	139	59	3

100.0

【休日】

	いつも食べる	たまに食べる	食べない	無回答など
割合(%)	15.1	57.3	22.4	5.2
人数(人)	35	133	52	12

100.0

問7 好き嫌いはありますか

	はい	いいえ	無回答など			
割合(%)	53.0	44.4	2.6			
人数(人)	123	103	6			

100.0

問7-2 「はい」のみ 嫌いな物に○をつけてください

	としょ」ロフタア 多形しょ	は物にしてファ	1 (1)						
	魚	肉	卵	豆類	牛乳·乳製品	野菜	果物	その他	無回答など
割合(%)	11.1	4.4	2.8	6.7	5.0	42.8	8.9	15.6	2.8
人数(人)	20	8	5	12	9	77	16	28	5

|<u>人剱(人)| 20| 8| 5| 12|</u> ※その他の具体例:きのこ類6人、梅干し4人、海藻3人、たこ3人、いか2人、えび2人

以下1名・・・そば、あんこ、固いもの、もずく、漬物、酢、こんにゃく、苦みのあるもの、もち、たけのこ、辛いもの、初めて食べるもの 料理によって食べたり食べなかったり

問8 噛みごたえのある物はどのくらいの頻度でたべますか

	毎日食べる	2~3日に1回は食べる	1週間に1回は食べる	苦手で食べない・食べられない	無回答など
割合(%)	3.4	31.5	55.6	3.9	5.6
人数(人)	8	73	129	9	13

問9 食べるスピードは他のお子さんとくらべてどうですか

	早い	ふつう	遅い	無回答など	
割合(%)	11.2	57.8	25.9	5.2	100.0
人数(人)	26	134	60	12	

問10 よく噛んで食べていますか

1-3.0	1 2 2	0.7.70		
	はい	いいえ	無回答など	
割合(%)	65.1	28.9	6.0	100.0
人数(人)	151	67	14	

Ⅲ. 運動習慣について

問11 天気のよい日はどこで遊びますか

	家の中で遊ぶことが多い	家の中と外と半々	外で遊ぶことが多い	無回答など
割合(%)	15.9	55.6	22.8	5.6
人数(人)	37	129	53	13

100.0

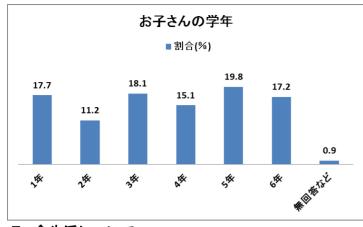
問12 どのような遊びが多いですか

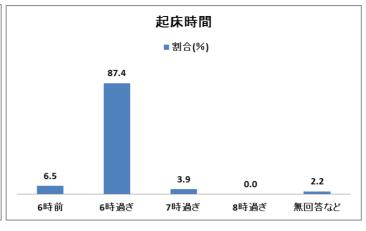
	家の中でゲームや絵本	家の中で追いかけっこなど体を使う遊び	外で自転車・ボール遊びなど体を使う遊び	その他	無回答など	
割合(%)	30.3	14.0	41.7	9.1	4.9	
人数(人)	80	37	110	24	13	

※その他の具体例:ローラーボード3人、スノボー3人、サッカー3人、野球3人、お絵かき3人、読書5人、ブレードボード1人、夏は海冬は雪遊び2名以下1人: 体を使った遊び、虫取り、人形、ビーズ、プール、つり、友達と遊ぶ、海、川、音楽を聴く、ビデオを見る、自転車、ピアノボール遊び、ブランコ、テレビを見る、ゲーム

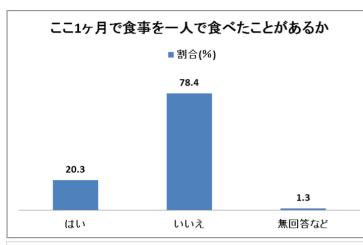
【小学生】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【グラフ】

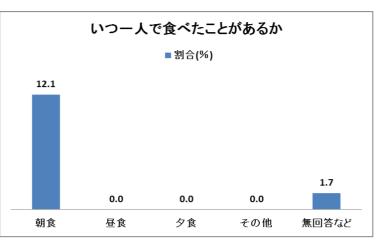
I. 生活状況について

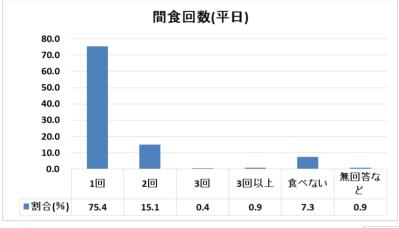


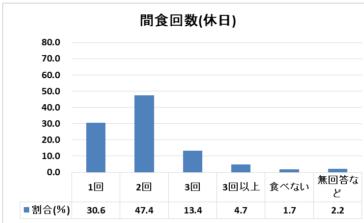


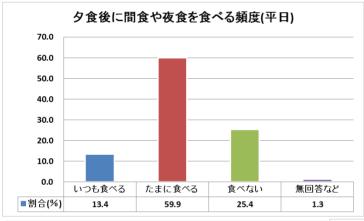
Ⅱ. 食生活について

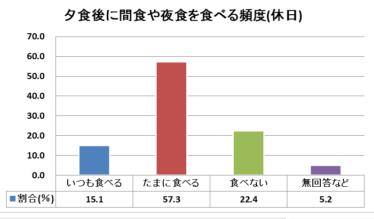


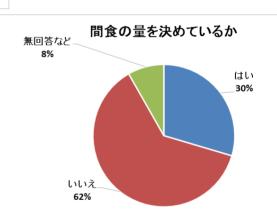


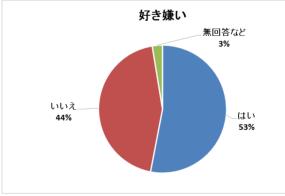


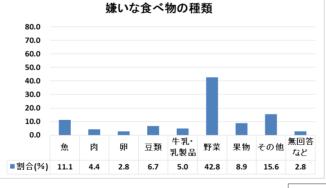


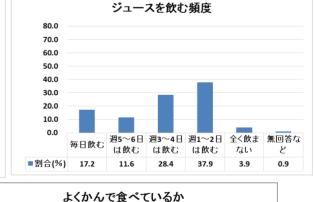


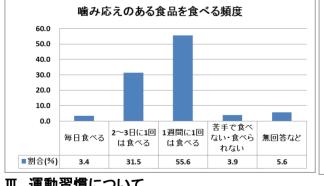


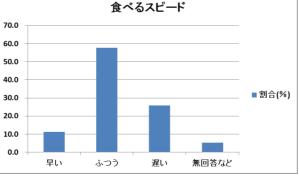


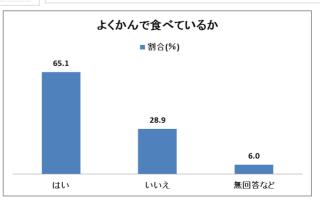




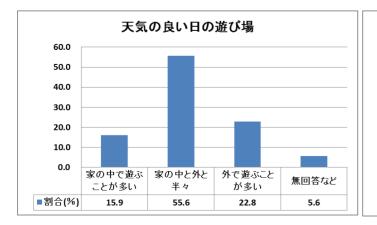


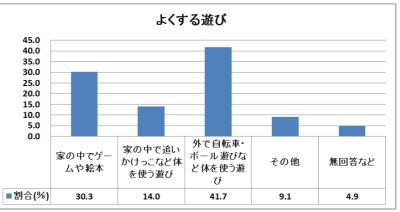






Ⅲ. 運動習慣について





【中学生】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【表】

104 回収率 65.4% 63.46153846

● お子さんについてお聞きします

I. 生活状況について

問1 お子さんの学年は

1 3 0 0 0 0				
	1年	2年	3年	無回答など
割合(%)	30.77	29.81	39.42	0.00
人数(人)	32	31	41	0

Ⅱ. 食生活について

問2 朝食は食べていますか

<u> </u>							
	毎日食べる	週5~6日は食べる	週3~4日は食べる	週1~2日は食べる	全く食べない	無回答など	
割合(%)	94.2	1.92	0.96	0.96	0.96	0.96	100.0
人数(人)	98	2	1	1	1	1	

0.0

問3 主食は主に何を食べていますか

	ごはん	パン	めん	その他	食べない	無回答など
割合(%)	75.70	18.69	0.93	0.00	2.80	1.87
人数(人)	81	20	1	0	3	2

100.00 107

※その他の具体例(延べ): ごはん・パン・シリアル2人、ごはんとパンを1日おき1人

問4 主食の他には、主に何を食べますか

	T TRAINING TICHER AND A								
	主菜	副菜	汁物	牛乳	果物	デザート	その他	食べない	無回答など
割合(%)	30.57	22.64	24.15	10.94	5.28	4.15	1.13	0.38	0.75
人数(人)	81	60	64	29	14	11	3	1	2
\1\ -\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- II I I I I I I I I I I I I I I I I I	_ /%	1		Al I. — 18 I	つし サムナー ムし むい			

※デザートの具体例(延べ): ヨーグルト8人、お茶2人 以下1人:ヤクルト、飲むヨーグルト、乳酸菌飲料

※その他の具体例(延べ):

問5 ここ1ヶ月くらいの間で、食事をひとりで食べたことがありましたか						
	はい	いいえ	無回答など			
割合(%)	42.31	56.73	0.96	100.00		
人数(人)	44	59	1			

目艮の里を次めて艮へているか								
	はい	いいえ	無回答など					
割合(%)	27.88	63.46	7.69					
人数(人)	29	66	8					

問6 間食は1日何回食べていますか

【平日午前】

割合(%)

	食べない	朝食前	朝食後	無回答					
割合(%)	79.81	0.96	3.85	15.38					
人数(人)	83	1	4	16					

	【平日午後】						
		食べない	昼食後	夕食後	寝る3時間前より後	無回答	
100.00	割合(%)	24.53	20.75	47.17	6.60	0.94	100.00
	人数(人)	26	22	50	7	1	106

67

【休日午前】 胡食後 無同炫 食べかい 胡仓前 割人

	及べるい	初及削	刊 及 夜	無凹官	
割合(%)	48.08	1.92	32.69	17.31	100
人数(人)	50	2	34	18	
問7 ジュ-	-スは飲みます	か			

00.00 割合(%) 9.48 57.76 人数(人) 11

100.00

100.00

100.00

割合(%)

人数(人)

【休日午後】

0.96

問4 間食は 【平日】	:1日何回食	べていますか			
	10	2回	3回	3回以上	食べない 無回答など

4.8

1.72

1.0

寝る3時間前より後 無回答

6.03

25.00

67.3

29

100.00

116

1.9

1.0

25.0

100.0 265

閏9-1 好き嫌いけありますか

毎日飲む

□08-1 好				
	はい	いいえ	無回答など	
割合(%)	59.22	34.95	5.83	100.00
人 迷 (人)	61	36	6	103

【休日】 3回以上 食べない 無回答など 割合(%) 52.4 30.1 6.8 0.0 9.7 人数(人) 54 31

100.0

問8-2 「はい」のみ 嫌いな物に○をつけてください

	<u> </u>	る物にしてフロ	1 (1)-00.						
	魚	肉	卵	豆類	牛乳·乳製品	野菜	果物	その他	無回答など
割合(%)	10.34	3.45	2.30	14.94	2.30	41.38	9.20	10.34	5.75
人数(人)	9	3	2	13	2	36	8	9	5

|<u>人数(人) | 9| 3| 2| 13| 2| 30| 8| 9| 9| 5|</u> ※その他の具体例:海藻類3人、きのこ類2人、いか2人 以下1人:貝類、しいたけ、くるみ、うに、しょうが、えび、かに、たこ、練り製品(ちくわ)、梅干し、チーズ

9.62

問9 噛みごたえのある物はどのくらいの頻度でたべますか

]毎日食べる	2~3日に1回は食べる	1週間に1回は食べる	舌手で良へない・良へられない	無凹谷なと
割合(%)	7.69	34.62	48.08	2.88	6.73
人数(人)	8	36	50	3	7
	-				

21.15

|週5~6日は飲む||週3~4日は飲む||週1~2日は飲む||全く飲まない ||無回答など

27.88

問10 食べるスピードは他の生徒とくらべてどうですか

	早い	ふつう	遅い	無回答など	
割合(%)	14.42	60.58	17.31	7.69	100.00
人数(人)	15	63	18	8	

問11 よく噛んで食べていますか

	はい	いいえ	無回答など
割合(%)	76.92	16.35	6.73
人数(人)	80	17	7

100.00

Ⅲ. 運動習慣について

問12 からだを使った活動はどの位行っていますか

	2~3日に1回位	毎日30分以内	毎日1時間以内	毎日1時間以上	その他	無回答など
割合(%)	19.23	8.65	4.81	55.77	4.81	6.73
人数(人)	20	9	5	58	5	7
NI - 11 .					. — . = 1 00 100 1	

※その他の具体例:週5~6日1時間以上、日曜以外2時間以上、週に4日2時間、週に4日2時間以内 部活動がある日毎回1時間以上

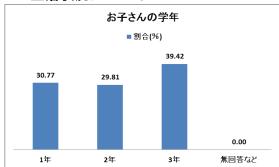
問13 体を動かすことは好きですか

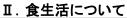
103.0	TATIO II CASIN Y CERNING CYN								
	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答など					
割合(%)	63.11	11.65	19.42	5.83	100.00				
人数(人)	65	12	20	6	10				

00 103

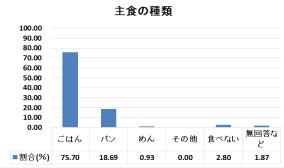
【中学生】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果【グラフ】

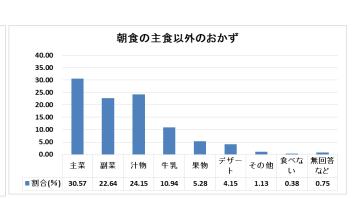
I. 生活状況について

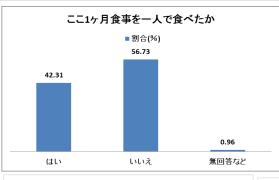


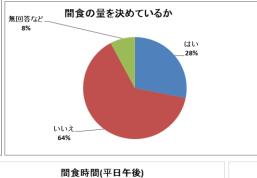


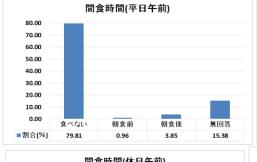


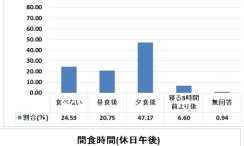


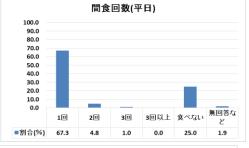


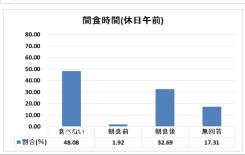


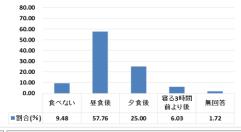




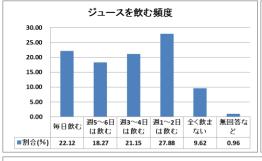


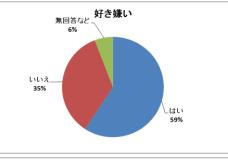


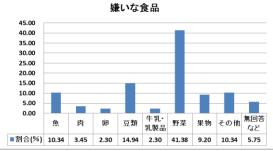


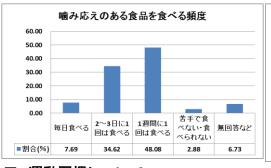


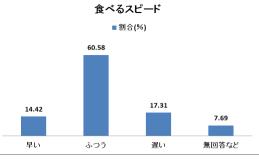


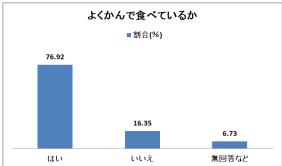




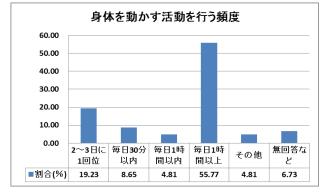


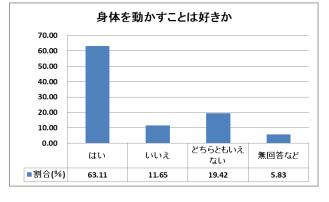






Ⅲ. 運動習慣について





【保・小・中の保護者】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果

N = 445回収率 102.8% 【保護者】

● 保護者について

2. 年齡	2. 年齢								
	10代		30代	40代	50代	60代	無回答など		
割合(%)	0	7.9	43.5	41.6	3.5	0.6	2.5		
人数(人)	1	25	138	132	11	2	8		

	1すでに記入	N=	445		
		チェックなし	チェックあり	無回答など	
100	割合(%)	69	29.4	1.1	445
317	人数(人)	309	131	5	

1 続柄

_1. 初元作为	I. 初th											
	父	母	祖父	祖母	その他	無回答など						
割合(%)	7.6	89.3	0.0	1	0	2.5	100.0					
人数(人)	24	283		2	0	8	317					

3. 家族の中にたばこを吸う人はいるか

		父	母	祖父	祖母	その他	無回答など	
割	合(%)	48.0	6.0	26.0	8.0	6.0	6.0	100
人	数(人)	24	3	13	4	3	3	50

00 50

4. 朝食は食べていますか

	毎日食べる	週5~6日は食べる	週3~4日は食べる	週1~2日は食べる	全く食べない	無回答など	
割合(%)	82.6	4.7	5.4	1.9	2.8	2.5	100
人数(人)	262	15	17	6	9	8	31

0.00 317

5. 食育についてお聞きします T 「合音」という言葉や音味を知っていますか

1.「食育」という言葉や息味を知っていますか											
	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	言葉も意味も知らない	無回答など							
割合(%)	54.1	40.8	1.3	3.8							
人数(人)	171	129	4	12							

Ⅱ お子さんへの食育で宝珠! ていることけありますか

	11. おすさんへの長月で夫成していることはめりよりか													
	/	好き嫌い	食への感謝	家族団らん	調理体験	農業体験	食を学ぶ	食事のマナー	味体験	伝統食	その他	特にない	わからない	無回答など
	合(%)	14.4	17.0	20.1	12.2	6.5	2.1	12.6	8.5	4.4	0	0.0	1.8	0.0
人	数(人)	151	178	210	127	68	22	132	89	46	3	0	19	0

6 「メタボリックシンドロー ム」という言葉やその音味を知っていますか

6.「メダボリックンントローム」という言葉やその息味を知っていますか											
	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	言葉も意味も知らない	無回答など							
割合(%)	77.0	17.0	0.3	5.7							
人数(人)	244	54	1	18							

100.0 317

100 316

7. 食の安全・安心についてお聞きします

I. 食に関して不安を感じることはありますか

- 1 氏でありて「人と応じることがのうがった											
	ない	ある	無回答など								
割合(%)	25.9	64.9	9.2								
人数(人)	82	205	29								

100.0 316

I-i. 何に不安を感じるか

	食品添加物	農薬の残量	表示の信ぴょう性	BSE	遺伝子組み換え	健康食品	鳥インフル	動物用医療品	異物混入	食物アレルギー	食中毒発生	放射線	その他	無回答など
割合(%	58.0	34.1	39.5	7.3	14.6	13.2	11.7	4.4	39.5	21.0	45.4	23.4	0.5	12.7
人数(人	.) 119	70	81	15	30	27	24	9	81	43.0	93.0	48	1	26

100.0 317

Ⅱ. 村からの情報提供をどう思いますか

	提供されている	ほぼ提供されている	どちらともいえない	やや不足している	不足している	無回答等					
割合(%)	10.7	20.5	54.6	1.9	3.5	8.8					
人数(人)	34	65	173		11	28					

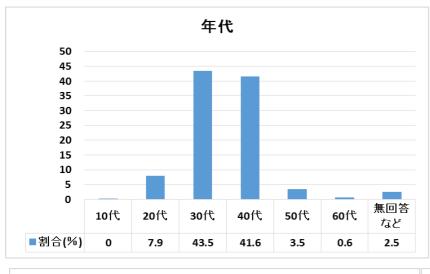
i どんな情報担供が不足と感じていますか(わわる兄・不足のみ)

ш-і.	1. こ70な情報に伝が「たこぶしているすが、「でですた」「ためが)												
	食品添加物	農薬の残量	表示の信ぴょう性	BSE	遺伝子組み換え	健康食品	鳥インフル	動物用医療品	異物混入	食物アレルギー	食中毒発生	放射線	無回答など
割合(%)	47.1	52.9	52.9	29.4	41.2	35.3	29.4	29.4	47.1	35.3	58.8	41.2	5.9
人数(人)	8	9	9	5	7	6	5	5	8	6.0	10	7	1

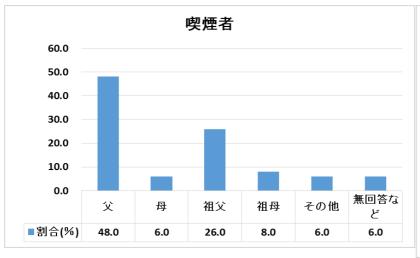
※不足の具体例(延べ): 以下1人 中国製品、輸入食品等、よくわからない

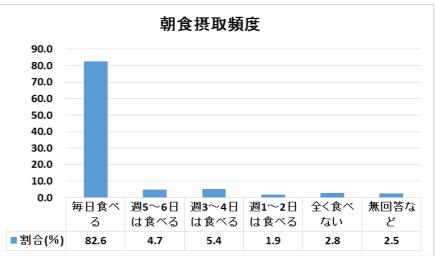
食べむらがある、子どもの好き嫌い、遊び食べ、アレルギーを持っている子にもなるべく同じものを食べさせたい、肉類をあまり食べない、食べるのが遅い、量が少ない、栄養が偏った食事 ※困っていること

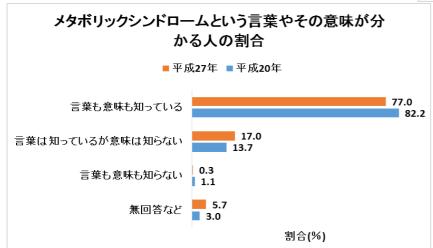
【保・小・中の保護者】平成27年6月実施 健康づくり&「食」に関するアンケート結果

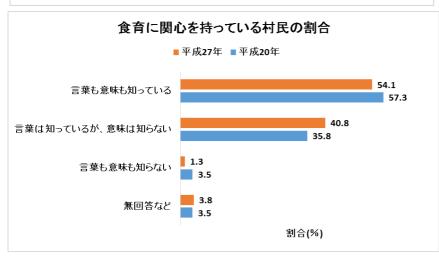


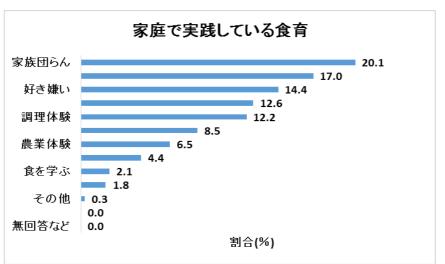


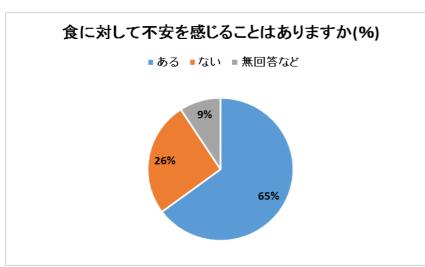


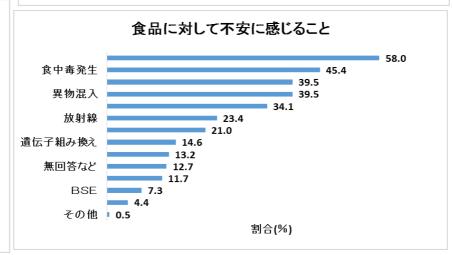


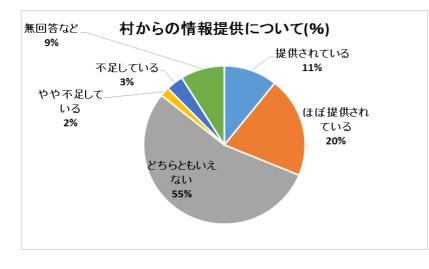


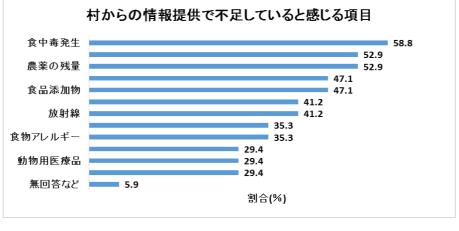








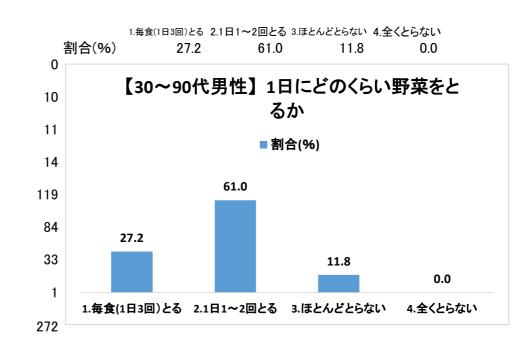




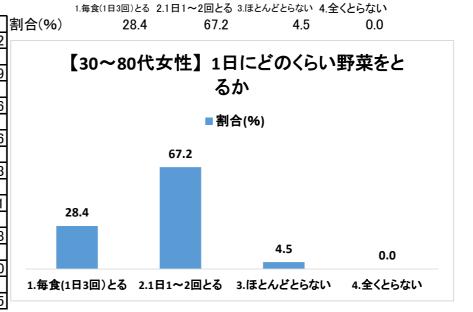
平成27年度特定健診問診票より

3. 1日に野菜はどのくらいとるか

		D列	1.毎食(1日3回)とる	2.1日1~2回とる	3.ほとんどとらない	4.全くとらない
	20代	割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	2016	人数(人)	0	0	0	0
	30代	割合(%)	10.0	70.0	20.0	0.0
	3016	人数(人)	1	7	2	0
	40代	割合(%)	0.0	90.9	9.1	0.0
	4016	人数(人)	0	10	1	0
	50代	割合(%)	21.4	57.1	21.4	0.0
男性	3010	人数(人)	3	8	3	0
为注	60代	割合(%)	25.2	58.0	16.8	0.0
		人数(人)	30	69	20	0
	70代	割合(%)	25.0	67.9	7.1	0.0
	7016	人数(人)	21	57	6	0
	80代	割合(%)	54.5	45.5	0.0	0.0
	0016	人数(人)	18	15	0	0
	90代	割合(%)	100.0	0.0	0.0	0.0
	3016	人数(人)	1	0	0	0
		割合(%)	27.2	61.0	11.8	0.0
		人数(人)	74	166	32	0

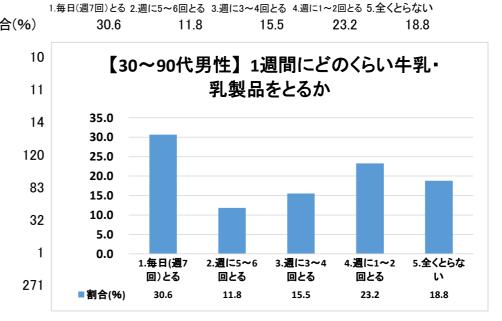


		D列	1.毎食(1日3回) とる	2.1日1~2回とる	3.ほとんどとらない	4.全くとらない	
	20代	割合(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	
	2010	人数(人)	1	1	0	0	2
	30代	割合(%)	20.7	75.9	3.4	0.0	
	3016	人数(人)	6	22	1	0	29
	40代	割合(%)	19.2	65.4	15.4	0.0	
	4016	人数(人)	5	17	4	0	26
	50代	割合(%)	26.9	69.2	3.8	0.0	
女性	3016	人数(人)	7	18	1	0	26
	60代	割合(%)	27.1	67.7	5.3	0.0	
	0016	人数(人)	36	90	7	0	133
	70代	割合(%)	28.7	69.3	2.0	0.0	
	7016	人数(人)	29	70	2	0	101
	80代	割合(%)	61.1	38.9	0.0	0.0	
	0016	人数(人)	11	7	0	0	18
	90代	割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	3016	人数(人)	0	0	0	0	0
	•	割合(%)	28.4	67.2	4.5	0.0	
		人数(人)	95	225	15	0	335

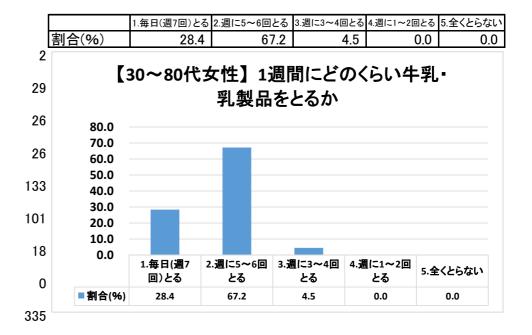


4.牛乳や乳製品は1週間にどれくらいとるか

4.十七 に打谷中は「河山」ことがいる。								
		F列	1.毎日(週7回)とる	2.週に5~6回とる	3.週に3~4回とる	4.週に1~2回とる	5.全くとらない	割合
	30代	割合(%)	20.0	0.0	20.0	30.0	30.0	
	3017	人数(人)	2	0	2	3	3	
	40代	割合(%)	18.2	0.0	18.2	36.4	27.3	
	4016	人数(人)	2	0	2	4	3	
	50代	割合(%)	14.3	14.3	21.4	35.7	14.3	
	3016	人数(人)	2	2	3	5	2	
甲性	男性 60代	割合(%)	31.7	8.3	12.5	24.2	23.3	
カエ		人数(人)	38	10	15	29	28	
	70代	割合(%)	27.7	15.7	20.5	20.5	15.7	
	7016	人数(人)	23	13	17	17	13	
	80代	割合(%)	46.9	21.9	9.4	15.6	6.3	
	0016	人数(人)	15	7	3	5	2	
	90代	割合(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3016	人数(人)	1	0	0	0	0	
·	·	割合(%)	30.6	11.8	15.5	23.2	18.8	
		人数(人)	83	32	42	63	51	



		F列	1.毎日(週7回)とる	2.週に5~6回とる	3.週に3~4回とる	4.週に1~2回とる	5.全くとらない
	20代	割合(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	2016	人数(人)	1	1	0	0	0
	30代	割合(%)	20.7	75.9	3.4	0.0	0.0
	3016	人数(人)	6	22	1	0	0
	40代	割合(%)	19.2	65.4	15.4	0.0	0.0
	4016	人数(人)	5	17	4	0	0
	50代	割合(%)	26.9	69.2	3.8	0.0	0.0
女性	3016	人数(人)	7	18	1	0	0
X E	60代	割合(%)	27.1	67.7	5.3	0.0	0.0
	0010	人数(人)	36	90	7	0	0
	70代	割合(%)	28.7	69.3	2.0	0.0	0.0
	7010	人数(人)	29	70	2	0	0
	80代	割合(%)	61.1	38.9	0.0	0.0	0.0
	0016	人数(人)	11	7	0	0	0
	90代	割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	3017	人数(人)	0	0	0	0	0
		割合(%)	28.4	67.2	4.5	0.0	0.0
		人数(人)	95	225	15	0	0



平成26年日常生活圏域ニーズ調査結果

N= 1936

問19 1日の食事回数は何回か

	朝昼晩の3食	朝晩の2食	朝昼の2食	昼晩の2食	1食	その他	無回答	
割合(%)	94.4	2.4	0.3	1.2	0.2	0.4	1.2	
人数(人)	1827	47	6	23	3	7	23	

問20 毎食野菜を食べているか

	はい	いいえ	無回答	
割合(%)	81.6	16.3	2.2	
人数(人)	1579	315	42	

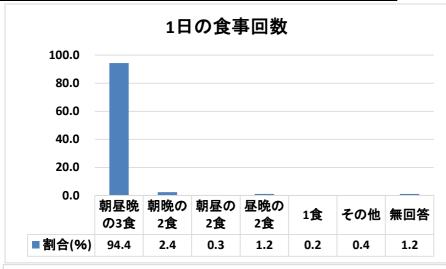
100.00

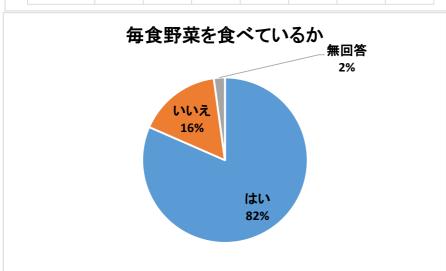
問21 食事を抜くことがあるか

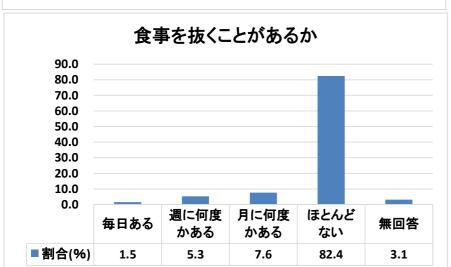
	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	ほとんどない	無回答
割合(%)	1.5	5.3	7.6	82.4	3.1
人数(人)	30	103	147	1596	60

100.00

100.00







運動分野:運動についてのアンケート調査結果

有効回答者数

(年代別)

\ +\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
30歳代	338
40歳代	435
50歳代	592
60歳代	681
70歳代	433
	2479

(性別)

\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
男	1232
女	1247

問1 あなたは1回30分以上の運動を週2回以上実施していますか

はい	393	15.9 %
いいえ	2079	84.1 %
•	2472	

問1-(1) <u>「はい」を選んだ人にお聞き</u>します。運動は週どれくらい実施していますか

2回3回	127
3回	98
4回	50
5回	52
6回	13
7回以上	55

問1-(2) 「はい」を選んだ人にお聞きします。1回の実施時間は何分ですか

30分~	127
60分未満	199
90分未満	20
120分未満	18
180分以上	7

問1-(4) 「はい」を選んだ人にお聞きします。どれくらい続けていますか(1年未満、1年以上)

1年未満	82
1年以 F	313

問1 「いいえ」を選んだ人にお聞きします。運動をしていない理由は何ですか

0 0 70 0 2270	7 <u></u>
必要ない	137
時間がない	1034
めんどう	435
嫌い	60
医師に言われない	29
効果がない	8
身体上の理由	191
その他	189

問2 ラジオ体操を週4回以上実施していますか

	· II / II / I	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>
はい	82	3.9 %
いいえ	2014	96.1 %
	2096	

歩数モニター集計結果 (平成 27 年 11 月~12 月実施)

<湯沢地区> モニター25 人 男性 13 人 女性 12 人

全年齢 1 日平均歩数: 7259 歩

男性 1 日平均歩数:6713 歩

女性 1 日平均歩数:7713 歩

			1 日平均歩数			
年代別	男女別	人数	年代男女別	年代別	全年代	
20~20 塩化	男性	3	4189			
20~30 歳代	女性	3	9668	6929	7050	
40 塩化	男性	3	7629	6076		
40 歳代	女性	3	6322	6976		
50 54	男性	3	9809	0210	7259	
50 歳代	女性	3	6829	8319		
60 塩化	男性	4	5598	6015		
60 歳代	女性	3	8031	6815		

〇モニター参加者の感想:

- ・万歩計で運動量を測ってみるとあまり動いていない事に気付いた。運動量が数値として表されるのは楽 しいのでダイエットに活かしていこうと思う。
- ・思ったより歩いてないと実感した。
- ・車の運転と作業の繰り返しであまり歩いてないかと思っていた。
- ・意識せず普段通りにやらせてもらった。一日の理想とされている一万歩だが自分でも近くまで行くんだ と分かって良かった。
- ・歩数計を付けていると意識して動くようになるが普段はもっと少ないと思う。15、000 歩以上目指して頑張りたい。
- ・車に乗ってるとカウントしないのが明確で歩くことが大事だと感じた。
- ・特に意識して歩きだすことはなく普段の生活。畑作業などしていると上半身の力仕事はあるものの歩く という動作にはつながらない。
- 快適だった。
- ・自分が思ってたよりも、歩いていないことに驚いた。自分の普段の生活を見直す機会になった。
- ・普段から運動をすることがあまりないが、平日の学校又、休日のアルバイトで自分が一日でどれだけ歩いているのかが分かった。歩くことが運動にもなるので心がけたいと思う。
- ・仕事の日と休日の日の、歩数の差が大きい事に気付くことが出来た。
- ・日曜日は仕事の時より少し遅く計ったが、意外と歩いていることがわかった。やってよかったと思った。
- ・仕事柄座っていることが多いため普段ほとんど歩かない事がよく分かった。 意識して歩くよう心がけたい。
- ・いままで万歩計を付けた事がなかったので、自分が一日どれくらい歩いているか分からなかったので、 今回はとてもいい機会だった。
- ・毎日、中旬から下旬にかけて仕事で歩くことが多いので後半にウォーキングを行えたら良かったと思った。
- ・休日は外へ出かけるので、思ったより歩数が多かった。今回は天気の良い日に測ったので少し多かった

けど、雨であればどうだったかと思う。

- ・11月5日会議の為午後からほとんど歩かなかった。
- ・もっと少ないかと思っていたが、けっこう歩いていたことにビックリした。
- ・生活歩行だけでも結構動いているもんだと思った。天気によっても違いが大きい。
- ・楽しくウォーキングが出来た。
- ・数字を見ると改めて少ないなあと思う。今は歩いて行ける距離でもついつい車で行くことが多い。歩けばいいのにと思いながらも車で行く。これからは頑張ってもっと歩こうと思う。

<上関地区> モニター36 人 男性 18 人 女性 18 人

全年齢 1 日平均歩数:8708 歩

男性 1 日平均歩数:9221 歩

女性 1 日平均歩数:8260 歩

			1 日平均歩数			
年代別	男女別	人数	年代男女別	年代別	全年代	
20~30 歳代	男性	4	4 11026			
20~30 成10	女性	4	6974	9000		
40 歳代	男性	4	8700	8719		
40 成10	女性	5	8738	0/19	8708	
50 歳代	男性	5	8630	8684	6706	
30 成1	女性	5	8738	0004		
60 歳代	男性	5	8785	8428		
00 成10	女性	4	8070	0428		

〇モニター参加者の感想:

- ・寒くなり運動しなくなったけど、以外と歩いていた。
- ・外での作業があるとないでは大きく違う事が分かった。意識しないと体を動かしていないことに気が付いた。
- ・3 日間とも出勤日に実施しました。その日の仕事内容によっては歩数に差があるのだなと思いました。
- ・普段の運動実施はしてませんが仕事上、毎日外を歩くことが中心の生活をしています。今後は休日 の歩数を意識して行動したいと思います。
- ・ゴルフ、ウォーキング(一時間)何もしない日を計測。これほど数値がちがうとは思いませんでした。 日によってかなり差があることが分かった。
- ・レジ打ちの仕事なのでほんとに歩いてないと思いました。
- ・家に万歩計は有りますが実際には付けて計ることなく実施したことで芽生えたような・・・続けてみようかと思います。
- ・歩くと気持ちがすっきりしてまた明日も歩きたいと思う。近所の人と声をかけて歩く時もありいつもより長く歩けるのでとても楽しく歩けます。
- ・一日一万歩歩かないと実感しました。一日30分は散歩などで歩くようにしたいと思いました。
- ・携帯の歩数計は歩幅を設定しているので数字が少なく今回借りた歩数計は数字が多くビックリしました。 この違いを理解に栗しみました。
- ・歩いた日は体が軽くなった様な気がして気持ち良いですね。なるべくなら毎日歩けるよう心がけています。

日常生活圏域ニーズ調査結果 (平成 26 年実施、65 歳以上及び要支援1~2の方 1936 名回答)

15 分位続けて歩いていますか。 「いいえ」

非介護	認定者			
一般				
25	71. 7			
11.1	11.1 51.9			

この1年間に転んだことがありますか。 「はい」

非介護	非介護認定者			
一般	一般 二次予防			
2	21.6			
11.4	40.3	40.6		

平成 27 年度 ラジオ体操参加者数

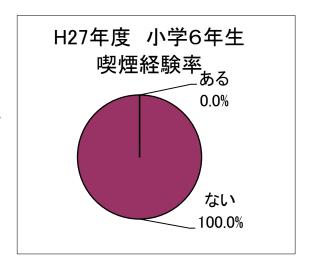
	集落	日数	子ども	大人	参加者数	備考
1	下関				0	※実施したが人数未定
2	上関	23	426	449	875	上関、雲母、六本杉
3	内須川				30	
4	勝蔵				70	
5	山本	31	16	0	16	
6	鍬江沢	26	50	58	108	
7	上土沢	17	149	55	204	
8	下土沢	25	126	60	186	(小学生 47 人、幼児 79 人)
9	大島	23	447	83	530	
10	大石		60	30	90	
11	安角		125	73	198	
12	鮖谷		45	30	75	
13	蔵田島・上川口	23	69	151	220	
14	滝 原	20	45	93	138	
15	平内新		85	30	115	
16	松ヶ丘	31	120	34	154	
17	上野山	23	0	156	156	
18	高田	22	418	88	506	
19	桂	18	23	166	189	
20	上野新	22	286	44	330	
21	朴 坂	22	88	40	128	
	合計		2,578	1,640	4,318	実施集落数:21 集落

たばこ・アルコール分野

たばこアンケート集計結果(小学6年生児童 H27年7月実施) アンケート回収率 95.6%(43人/45人)

喫煙歴	ある	ない	児童総数	喫煙経験率
関川小	0	43	43	0.0%
計	0	43	43	0.0%

- 2、初めてたばこを吸った時期
- 3、たばこを吸ったきっかけ
- 4、現在たばこを吸うことがありますか
- 5、たばこを吸ってしまう理由
- 6、たばこの入手方法



7、たばこについて自分の考え、気持ち、知っていることなどを自由に書いてください。 また、子どもの喫煙をなくすためにはどんなことが必要だと考えますか?

- すすめられても吸わない。
- 注意をすればいいと思った。
- たばこを吸わない。
- ・自分の親が車の中でいつもたばこを吸っているので気持ち悪い。肺に悪いからやめてほしい。たばこをなくしてほしい。
- 危険ドラッグとして扱う。
- 肺に悪い、くさい、気持ち悪いから消えればいいと思う。
- くさいし、気持ち悪いから消えればいいと思う。
- たばこを買わない。
- ・たばこをなくせばいい。
- ・たばこは寿命が20年位減るから、たばこはない方がいい。
- たばこを吸うと肺が黒くなってしまう。
- ・たばこは肺炎になる確率がアップするからいけない。また、喫煙をなくすためには注意して、病気になったら 思い知らせる。
- ・もし、子どもがたばこを吸っていたら注意するようにしたいです。
- ・たばこは吸うと肺が汚くなって病気になるし、くさいし、周りの人にも迷惑がかかるから。
- 肺に悪いのでしない。
- ・病気にならないようにするためや運動不足にならないように。
- 得がないのに、なぜ吸うのか?たばこを売らない。
- ・たばこを吸うと危険なことがたくさんあることをみんなに知らせることが必要だと考えます。
- たばこを吸う回数を減らす。
- ・僕は陸上などをやっていて、たばこなどを吸ってしまうと体力などがなくなってしまうので吸いたくないです。
- ・僕はたばこを吸ったことはありませんでした。なぜかはたばこを吸うとがんという病気になってしまい、寿命が短くなるからです。
- ・たばこは病気になって、肺が汚くなるから吸わない方がいい。
- ・子どもが喫煙すると肺がんになったりして大変だと思います。大人がたばこを吸っているのを見せたりしない方がいいと思います。
- 臭いからなくなればいい。うざいにおい。吸うとストレスたまってくる。
- ・たばこは体に悪いから吸わない方がいい。子供は吸ってはいけないのでたばこ自体なくせばいい。
- ・たばこは臭すぎる。気持ち悪くなる。肺が汚くなる。やんない方がいいと思う。何でやるのか分からない。
- 親がたばこをやめて子どもも吸わなければいい。
- たばこを吸っている人は、たばこを少しずつでも減らしていけばいいと思う。
- たばこは肺にも悪いから。

- たばこは体に悪いものなので、吸わない方がいいと思う。
- たばこは肺に悪いものだから、たばこを吸っている人はやめてほしい。
- たばこは吸わない方がいい。
- たばこを吸うのは自分にも相手にも被害があるからなくなればいい!
- たばこは悪い。
- ・たばこというのはいろいろと体に悪いです。そのたばこを吸う子どもがいないようにたばこを吸うと体に 害があるということを考えればいいと思います。
- ・たばこは体に悪いと思う。でも本当に吸いたくて吸っているのかよくわからない。たばこは吸って吐くだけのことなのにどこがいいのかわからない。また、喫煙をなくすためには親が子供に吸うところをみせないようにして。
- ・なんでたばこがあるんだろう?何でたばこを吸うのだろうと考えています。たばこを吸うと痩せたりすると聞きました。けれども得るものよりも失うものの方が多いと思いました。親の協力が必要だと思います。
- ・たばこは体にとって悪いものだから20歳以下の人は絶対に吸ってはいけないし、20歳以上の人もあまり吸わない方がいいと思います。
- ・たばこを吸うと肺や胃が悪くなると聞いたことがあるから、もし、たばこを吸っている人がいたら、看板などを使って呼びかければよいと思います。
- ・たばこは吸い過ぎると病気になってしまうだろうし、いいことがないので大人になっても吸わないようにしたいです。また、子どもの喫煙をなくすためには、たばこの悪い所をしっかり知ることが大切だと思います。
- ・たばこは人体に様々な悪影響を及ぼします。子どもの近くにたばこを置かない。どんなことが起きるかを伝えればよいと思う。
- 必要な事はたばこを吸うのをやめた方がいいと思います。
- ・私がたばこについて知っているのは、たばこを吸うと体に悪いということです。特に肺に害があると思います。 たばこは気持ちをよくするのでやめた方がいいと思います。
- たばこを吸うと肺が悪くなります。そして、たばこを小学生から吸うのはよくないのでやめてほしいと思います。

たばこアンケート集計表(小6・中2保護者計)

アンケート回収率 関川小6年保護者 88.9%(40人/45人) 関川中2年保護者 70.5%(31人/44人)

1.家族に喫煙者がいる家庭

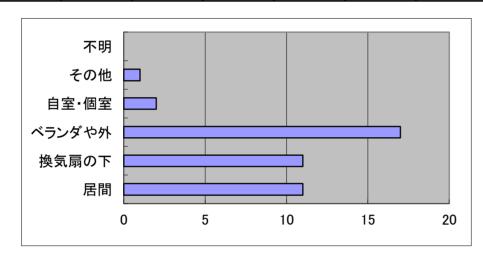
	いる	いない	
関川小6年	19		21
関川中2年	15		16
計	34	;	37

①喫煙者家族の内訳

	父	母	兄	祖父	祖母	その他
関川小6年	17	2	1	3	0	1
関川中2年	10	1	0	6	2	1
計	27	3	1	9	2	2

②家庭での喫煙場所

	居間	換気扇の下	ベランダや外	自室•個室	その他	不明
関川小6年	4	7	13	0	0	0
関川中2年	7	4	4	2	1	0
計	11	11	17	2	1	0



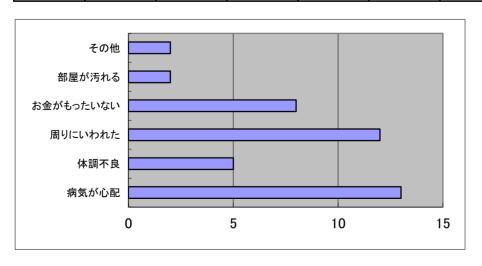
2.たばこを吸っている家族へのアンケート

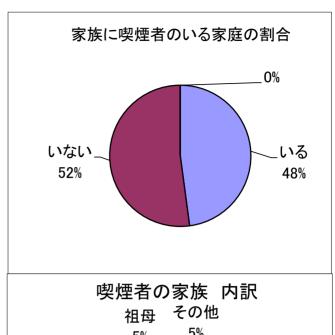
①喫煙のきっかけ(複数回答)

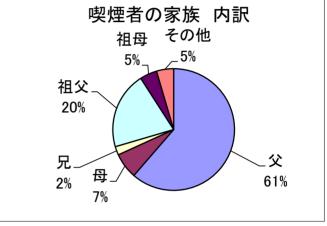
	好奇心•興味	誘われて	家族が吸っ ていた	その他			
関川小6年	13	2	2	3			
関川中2年	8	1	4	2			
計	21	3	6	5			

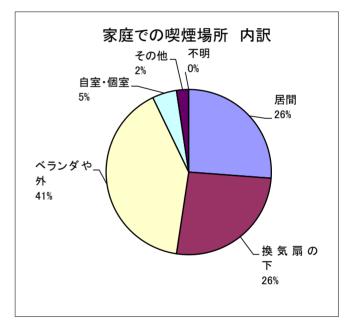
②喫煙者で禁煙しようと思ったことのある方へ禁煙しようと思った理由(複数回答)

<u> </u>				<u> </u>			
	病気が心配	体調不良	周りにいわれた	お金がもったいない	部屋が汚れる	その他	
関川小6年	9	3	8	5	1	2	
関川中2年	4	2	4	3	1	0	
計	13	5	12	8	2	2	









③禁煙が難しい理由(複数回答)

	落ち着く	依存性がある	吸わないとイラ イラする	意思が弱い	惰性で吸ってる	その他	
関川小6年	7	8	8	4	1	0	
関川中2年	6	3	6	2	0	0	
計	13	11	14	6	1	0	

④喫煙者より子どもたちへひとこと

- たばこは吸わないこと。
- ・1回でも知ってしまったら、やめることはすごく大変だから吸わない方がいい。たばこは1つもいいことがない。
- ・体にいいものではないしお金もかかるので、できれば吸わない方がいい。
- ・たばこは20歳過ぎてから吸うこと。
- 百害あって一利なし。
- たばこを吸ってもいいことないよ。
- たばこには手をださないように。

3.たばこを吸っていない家族へのアンケート

①過去の喫煙経験

	ある	ない	無回答
関川小6年	15	24	0
関川中2年	8	18	0
計	23	42	0

②過去に喫煙していた方で禁煙した理由(複数回答)

	病気が心配	体調不良	周りにいわれた	お金がもったいない	部屋が汚れる	その他
関川小6年	4	4	1	5	0	0
関川中2年	7	7	3	3	3	0
計	11	11	4	8	3	0

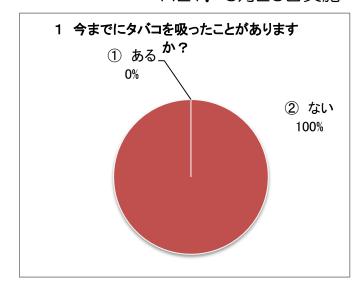
非喫煙者より子どもたちへひとこと

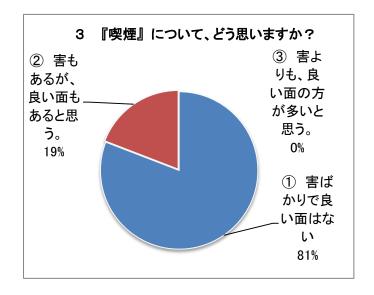
- 吸わない方がいいですよ。
- ・自分をしっかり持って誘われても吸わない決意、友達に断る、止める勇気をみんなが持てるように家族で学校で話し合ってください。
- ・喫煙している人の肺など肺がんになった方の肺の様子をみると怖いな~と感じます。
- ・一度保健体育などで勉強し、ビデオ・DVD等で人間の体内を見ておくことが大事かと思います。
- ・たばこはお金を出して病気を買っています。何一ついいことはありません。
- たばこは百害あって一利なし。
- ・たばこを吸っていいことは何もありません。自分の体や家族のためにも吸わないことが一番です。
- ・たばこは百害あって一利なしです。まさにその通り。たばこを吸っていいことは何もありません。逆に悪いことは何百とあります。依存症に陥ったら確実に自分の寿命より10年は早く死ぬことになります。たばこは非常に恐ろしいものです。手をだしてはいけません!!!自分の大切な人のためにも・・・。
- ・お金がかかり体にも悪いので吸わない方がよい。
- たばこを吸っている人はかっこわるいですよ。

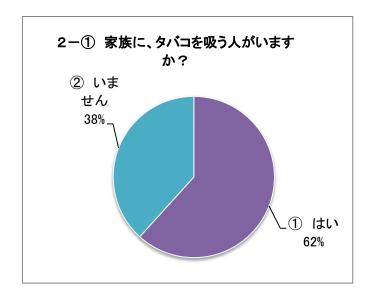
中学3年生『喫煙防止講演』事前アンケート集計結果 (47名回答)

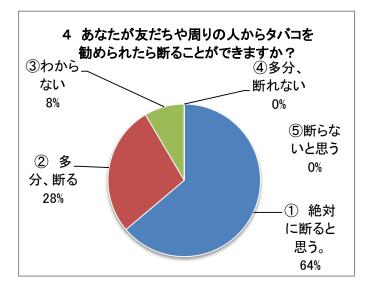
H27. 6月26日実施

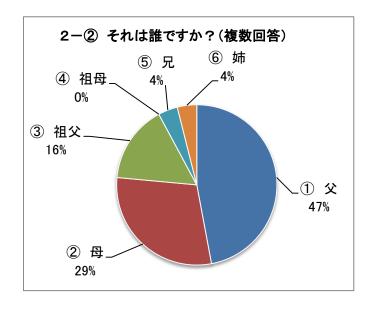
関川中学校 保健室

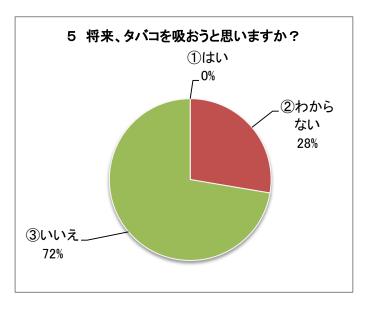








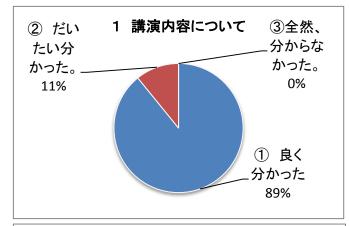


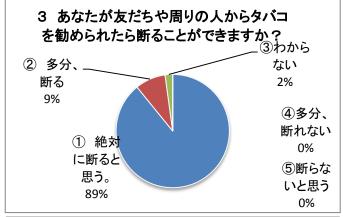


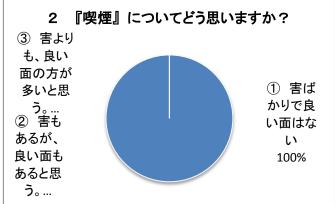
中学3年生『喫煙防止講演』事後アンケート集計結果 (46名回答)

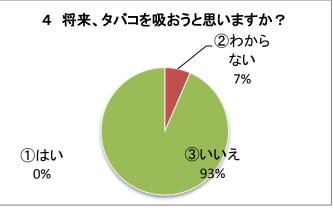
H27. 7. 16実施

関川中学校 保健室









~ 事前アンケートと事後アンケートを比較して ~

(左:事前アンケート結果 47人回答) (右:事後アンケート結果 46人回答)

- 1 『喫煙』に関してどう思うか?
- ①害ばかりで良い面はない
- ②害もあるが良い面もあると思う
- ③害よりも良い面の方が多いと思う

81%(38人)→100%(46人)に増加。 19%(9人)→ 0%(0人)に減少。 0%(0人)→ 0%(0人)

- 2 あなたが友だちや周りの人にタバコを勧められたら断ることができるか?
- ①絶対に断ると思う
- ②多分、断ると思う
- ③わからない
- 4断らないと思う

- 64%(30人)→89%(41人)に増加。 28%(13人)→ 9%(4人)に減少。 8%(4人)→ 2%(1人)に減少。 0%(0人)→ 0%(0人)同じ。
- 3 将来、タバコを吸おうと思いますか?
- ①いいえ
- ②わからない
- (3)はい

72%(34人)→93%(43人)に増加。 28%(13人)→ 7%(3人)に減少。 0%(0人)→ 0%(0人)

歯科保健分野

歯に関するアンケート集計結果(H27)

N= 3020

問1 年齢(年代)

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計人数
割合(%)	12.4	16.6	22.5	27.6	21.0	
人数(人)	375	500	678	832	634	3019

問2 性別

	男	女	無回答	合計人数
割合(%)	47.5	50.9	1.7	
人数(人)	1433	1536	51	3020

問3 居住地区

/	下関	上関	四ヶ字	霧出	七ヶ谷	九ヶ谷	湯沢	川北	女川	無回答	合計人数
割合(%)	18.1	7.7	7.0	16.3	7.2	6.0	6.9	12.6	17.2	1.1	
人数(人)	546	234	211	491	216	181	209	380	518	34	3020

問4 家族構成

	親と子	親と子と孫	夫婦のみ	1人ぐらし	その他	無回答	合計人数
割合(%)	44.6	19.6	14.4	4.8	10.2	6.5	
人数(人)	1344	590	433	144	307	197	3015

問5 喫煙

	HO 7/E						
	/		吸っている	以前吸っていた	吸っていない	無回答	合計人数
	男性	割合(%)	35.5	30.7	32.3	1.5	
	多性	人数(人)	508	440	463	22	1433
	女性	割合(%)	6.9	6.6	82.6	4.0	
.	女任	人数(人)	106	101	1268	61	1536

問5 喫煙状況(年代男女別)

		吸っている	以前吸っていた	吸っていない	無回答	合計人数
30代男性	割合(%)	43.7	22.1	32.7	1.5	
3010311	人数(人)	87	44	65	3	199
30代女性	割合(%)	13.3	9.8	74.6	2.3	
301031	人数(人)	23	17	129	4	173
40代男性	割合(%)	50.6	21.5	26.6	1.3	
4010万庄	人数(人)	118	50	62	3	233
40代女性	割合(%)	11.2	9.3	77.9	1.6	
4010女庄	人数(人)	29	24	201	4	258
50代男性	割合(%)	42.8	31.2	24.5	1.5	
3010511	人数(人)	140	102	80	5	327
50代女性	割合(%)	8.4	9.9	79.1	2.6	
301051	人数(人)	29	34	273	9	345
60代男性	割合(%)	31.4	34.5	32.4	1.7	
0010311	人数(人)	131	144	135	7	417
60代女性	割合(%)	5.2	5.0	86.4	3.5	
001051	人数(人)	21	20	348	14	403
70代男性	割合(%)	12.5	38.9	47.1	1.6	
70103FIE	人数(人)	32	100	121	4	257
70代女性	割合(%)	1.1	1.7	88.8	8.4	
701001	人数(人)	4	6	316	30	356

問6 介護保険サービスの利用

	あり	ノー なし 無回		合計人数
割合(%)	1.7	92.8	5.5	
人数(人)	50	2801	167	3018

問7 障害者手帳の所有

	あり	なし	無回答	合計人数	
割合(%)	5.0	90.6	4.4		割合(%)
人数(人)	151	2737	132	3020	人数(人)

問7 障害者手帳の所有(分類別)

	身体	精神	知的	合計人数
割合(%)	55.0	23.7	21.3	
人数(人)	542	233	210	985

									•			
		〇回	1回	2回	3回	4回	5回	不明	合計人数			
男性	割合(%)	1.4	39.5	44.3	11.0	1.7	0.4	1.7				
为注	人数(人)	20	566	635	157	24	6	25	1433			
女性	割合(%)	0.5	15.8	47.9	29.2	4.6	0.9	1.1				
ᆺᇉ	人数(人)	7	243	736	448	71	14	17	1536			
間Q 歩麻	明8 歯麻きの同数(年代甲女則)											

		回〇	1回	2回	3回	4回	5回	不明	合計人数
30代男性	割合(%)	1.5	30.7	51.3	14.1	1.0	0.0	1.5	
3010311	人数(人)	3	61	102	28	2	0	3	199
30代女性	割合(%)	0.6	8.1	38.7	43.4	6.9	1.7	0.6	
3010女庄	人数(人)	1	14	67	75	12	3	1	173
40代男性	割合(%)	0.4	33.3	53.2	10.8	1.7	0.4	0.0	
4010万庄	人数(人)	1	77	123	25	4	1	0	231
40代女性	割合(%)	0.0	10.5	46.5	39.5	2.7	0.8	0.0	
4010女庄	人数(人)	0	27	120	102	7	2	0	258
50代男性	割合(%)	0.9	39.1	48.8	10.2	0.9	0.0	0.0	
3010万庄	人数(人)	3	126	157	33	3	0	0	322
50代女性	割合(%)	0.6	13.9	49.3	32.5	3.2	0.6	0.0	
3010女庄	人数(人)	2	48	170	112	11	2	0	345
60代男性	割合(%)	1.2	46.2	39.9	10.5	1.5	0.7	0.0	
の代方圧	人数(人)	5	190	164	43	6	3	0	411
60代女性	割合(%)	0.0	16.4	54.8	23.7	4.3	0.8	0.0	
の代文圧	人数(人)	0	65	217	94	17	3	0	396
70代男性	割合(%)	3.2	45.2	35.9	11.3	3.6	0.8	0.0	
7010五年	人数(人)	8	112	89	28	9	2	0	248
70代女性	割合(%)	1.2	25.6	46.7	18.4	6.9	1.2	0.0	
/010女主	人数(人)	4	89	162	64	24	4	0	347

		デンタルフロス	歯間ブラシ	舌ブラシ	使用なし	不明	合計人数
30代男性	割合(%)	11.6	6.5	4.5	75.4	2.0	
30代为注	人数(人)	23	13	9	150	4	199
30代女性	割合(%)	30.6	15.1	5.4	48.4	0.5	
30代女庄	人数(人)	57	28	10	90	1	186
40代男性	割合(%)	14.5	18.2	4.5	62.4	0.4	
401(커크	人数(人)	35	44	11	151	1	242
40代女性	割合(%)	26.6	28.7	5.5	39.1	0.0	
4010女庄	人数(人)	77	83	16	113	0	289
50代男性	割合(%)	9.7	23.0	4.5	61.6	1.2	
30163711	人数(人)	32	76	15	204	4	331
50代女性- 50代女性-	割合(%)	12.5	35.4	8.0	43.6	0.5	
301051	人数(人)	47	133	30	164	2	376
60代男性 60代男性	割合(%)	6.0	24.5	5.0	62.0	2.4	
の行力圧	人数(人)	25	102	21	258	10	416
60代女性	割合(%)	10.9	36.6	10.5	42.0	0.0	
回て女庄	人数(人)	48	161	46	185	0	440
70代男性	割合(%)	3.2	23.5	3.2	68.0	2.0	
ᄱᅜᅔᅜ	人数(人)	8	58	8	168	5	247
70代女性	割合(%)	5.2	28.8	18.2	47.6	0.3	
/010女庄	人数(人)	19	106	67	175	1	368

60

問10 歯科健診の定期受診(少なくとも年1回)

	している	していない	無回答	合計人数
割合(%)	25.4	73.1	1.5	
人数(人)	364	1047	21	1432
割合(%)	31.9	66.3	1.9	
人数(人)	488	1015	29	1532
	割合(%) 人数(人) 割合(%)	している 割合(%) 25.4 人数(人) 364 割合(%) 31.9	出合(%)25.473.1人数(人)3641047割合(%)31.966.3	割合(%) 25.4 73.1 1.5 人数(人) 364 1047 21 割合(%) 31.9 66.3 1.9

問10 歯科健診の定期受診(年代男女別)

		砂(牛しカタか			•
		している	していない	無回答	合計人数
30代男性	割合(%)	20.1	79.9	0.0	
3016711	人数(人)	40	159	0	199
30代女性	割合(%)	31.2	67.6	1.2	
301(女任	人数(人)	54	117	2	173
40代男性	割合(%)	18.5	80.3	1.3	
4010	人数(人)	43	187	3	233
40代女性	割合(%)	30.1	69.5	0.4	
401人女主	人数(人)	77	178	1	256
50代男性	割合(%)	23.5	76.1	0.3	
5010分注	人数(人)	77	249	1	327
50代女性	割合(%)	27.5	71.9	0.6	
501人女主	人数(人)	95	248	2	345
60代男性	割合(%)	28.6	70.2	1.2	
の代男注	人数(人)	119	292	5	416
60代女性	割合(%)	37.1	60.9	2.0	
可以文正	人数(人)	149	245	8	402
70代男性	割合(%)	33.1	62.3	4.7	
7010男注	人数(人)	85	160	12	257
70代女性	割合(%)	31.8	63.7	4.5	
がスま	人数(人)	113	226	16	355

問10 歯科健診の定期受診(30~50代男女別)

		している	していない	無回答	合言
30~50代	割合(%)	21.1	78.4	0.5	
男性	人数(人)	160	595	4	
30~50代	割合(%)	29.2	70.2	0.6	
女性	人数(人)	226	543	5	

·計人数

759 774

問11 歯や口のためにとっている行動(複数回答)

		歯の健康に関するテレビ・ 本・新聞記事等をよく見る	歯や歯ぐきの具合が悪い 時に周囲に相談する	毎日歯の手入れを怠らない	歯や歯ぐきの定期健診を 受けている	その他	意識して行っていることは 特にない	合計人数
30代男性	割合(%)	1.4	8.5	26.3	6.6	1.9	55.4	
3010万压	人数(人)	3	18	56	14	4	118	213
30代女性	割合(%)	7.1	14.2	35.1	16.1	0.0	27.5	
3010文注	人数(人)	15	30	74	34	0	58	211
40代男性	割合(%)	3.7	3.7	25.9	7.8	8.0	58.0	
4010分注	人数(人)	9	9	63	19	2	141	243
40代女性	割合(%)	5.9	12.1	35.9	17.6	0.7	27.8	
4010女庄	人数(人)	18	37	110	54	2	85	306
50代男性	割合(%)	3.4	7.4	27.5	13.2	1.1	47.3	
3010万压	人数(人)	12	26	96	46	4	165	349
50代女性	割合(%)	5.9	7.6	36.0	16.5	1.7	32.3	
3010XIE	人数(人)	24	31	146	67	7	131	406

問12 歯の本数

)					
		20本以上	10~19本	9本以下	無回答	合計人数
50代男性	割合(%)	78.6	6.7	4.9	9.8	
5010分注	人数(人)	257	22	16	32	327
50代女性	割合(%)	85.5	5.5	3.2	5.8	
5010女庄	人数(人)	295	19	11	20	345
60代男性	割合(%)	54.9	21.1	14.6	9.4	
的历史注	人数(人)	229	88	61	39	417
60代女性	割合(%)	62.2	17.7	12.4	7.7	
001人女注	人数(人)	250	71	50	31	402
70代男性	割合(%)	45.1	17.1	22.2	15.6	
7010新注	人数(人)	116	44	57	40	257
70代女性	割合(%)	35.7	20.8	30.3	13.2	
7010女庄	人数(人)	127	74	108	47	356
	-	-	-	-	-	•

問13 食事について

<u> </u>	1000						•
		何でもおいしく食べられる	硬くて噛みにくい食べ物がある	飲み込みにくい	味が分かりにくい	分からない	合計人数
50代男性	割合(%)	82.8	14.6	0.0	0.7	1.9	
5010分注	人数(人)	222	39	0	2	5	268
50代女性	割合(%)	84.1	13.1	1.4	0.7	0.7	
5010女任	人数(人)	238	37	4	2	2	283
60代男性	割合(%)	75.7	21.5	1.1	1.1	0.6	
の行力圧	人数(人)	274	78	4	4	2	362
60代女性	割合(%)	77.3	20.5	0.3	1.2	0.6	
の代文圧	人釵(人)	249	66	1	4	2	322
70代男性	割合(%)	77.0	19.1	2.5	1.5	0.0	
7010万压	人釵(人)	157	39	5	3	0	204
70代女性	割合(%)	77.2	19.6	1.8	1.1	0.4	
7010.501	人数(人)	220	56	5	3	1	285

 問14 歯(の健康に関する	役場への要望										
	子ども達のむし歯予防を 行うとよい	歯の磨き方や義歯の手入 れ方法を体験する機会が あるとよい	氏参加のイベンドを行うと	歯と関係のある全身的な 病気について知る機会が あるとよい	ロや圏のことで相談でき	成人に対して定期的に歯 や歯肉を検査する機会が あるとよい	TFO CM やロのことに J	要介護高齢者の口の清 掃方法について体験する 機会があるとよい	る艮争について知る俄云	むし歯の状況など村民の 歯の状況を知る機会があ るとよい(広報等)	歯の健康に関するスロー ガンがあるとよい	その他
割合(%)	25.0	10.4	3.1	20.9	5.2	13.0	1.2	4.4	12.1	4.6	2.0	1.7
人数(人)	676	283	83	567	142	353	33	120	327	125	53	46

199

173

233

258

327

345

417

403

257

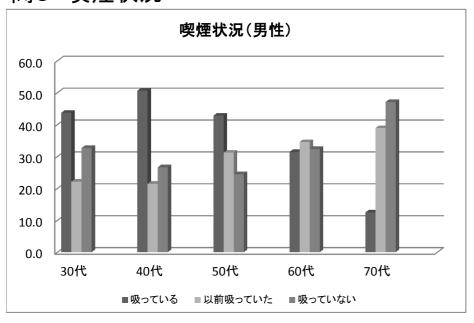
356

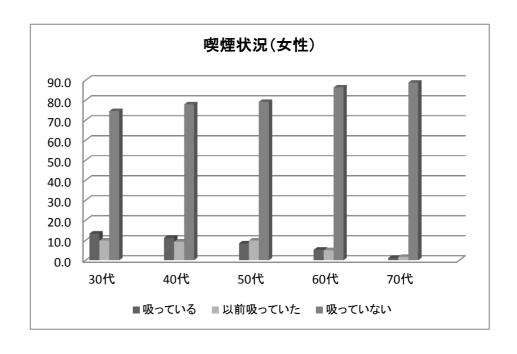
合計人数

2709

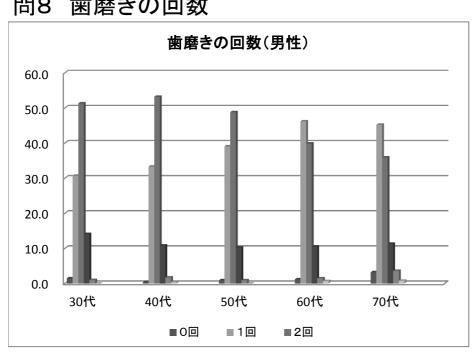
問15 8020運動について 言葉を聞いたことはある が、意味は分からない 意味を知っている 分からない 無回答 合計人数 割合(%)
人数(人)
割合(%) 45.2 22.6 20.1 12.1 30代男性 40 24 45 90 39.9 16.8 26.0 17.3 30代女性 人数(人) 69 29 30 45 21.5 14.2 45.1 19.3 40代男性 33 10.1 50 105 45 41.9 23.6 24.4 40代女性 108 23.9 78 26 14.4 63 26.0 61 35.8 50代男性 47 117 85 38.8 13.9 22.9 24.3 50代女性 134 48 79 84 29.0 10.3 38.4 22.3 60代男性 121 43 160 93 10.7 38.2 22.3 28.8 60代女性 154 43 90 116 10.1 30.7 25.7 33.5 70代男性 人数(人) 割合(%) 66 26 79 86 28.9 11.8 20.5 38.8 70代女性 人数(人) 103 138

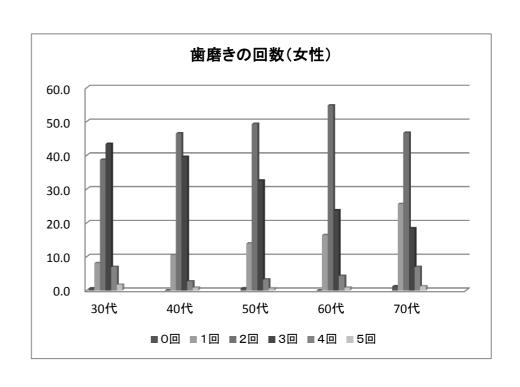
問5 喫煙状況



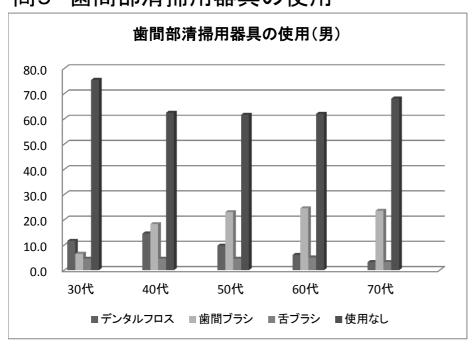


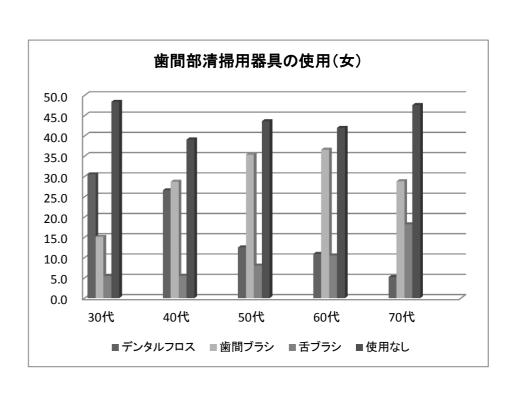
問8 歯磨きの回数



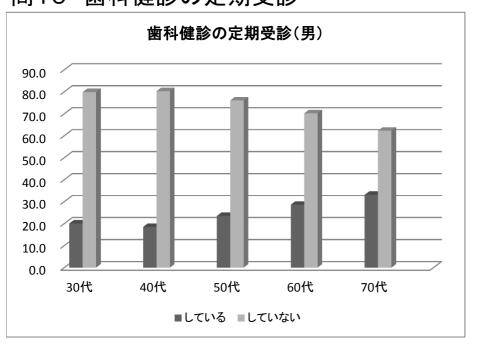


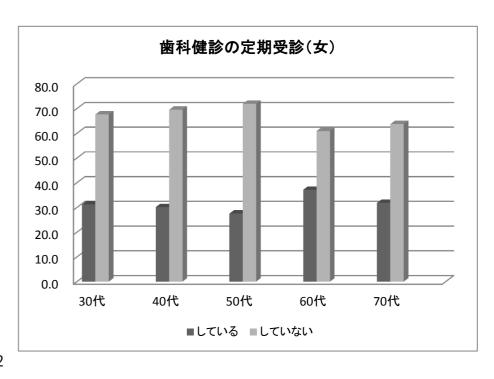
問9 歯間部清掃用器具の使用





問10 歯科健診の定期受診





〈要介護者〉

知的·女性

<要介護	者>								
問8 歯み	がきの回数		T 4 🗖				T = ==	7	△= ↓ 1 *⁄-
男性	割合(%)	O回 8.0	1回 52.0	2回 28.0	3回 8.0	4回 0.0	5回 0.0	不明 4.0	合計人数
女性	人数(人) 割合(%)	0.0	13 24.0	40.0	20.0	0 4.0	0.0	12.0	25
	人数(人)	0	6	10	5	11	1 0	3	25
問9 歯間		<u>等の使用(複数</u> デンタルフロス	(回答) . 歯間ブラシ	舌ブラシ	使用なし	不明	合計人数		
男性	割合(%) 人数(人)	4.8 1	14.3 3	4.8 1	71.4 15	4.8 1	21		
女性	割合(%) 人数(人)	11.1	33.3 9	14.8 4	40.7 11	0.0	27		
問10 歯科	健診の定期受	を診(少なくともな	≢1回)				_		
	割合(%)	している 28.0	していない 72.0	無回答 0.0	合計人数				
男性	入数(人) 割合(%)	7 44.0	18 52.0	0 4.0	25				
女性	入数(人)	11	13	1	25				
問11 歯や	口のためにと	っている行動(を	复数回答) ・歯や歯ぐきの具合が悪い	FD#0714+#?#\	歯や歯ぐきの定期健診を	7.014	意識して行っていることは	 	
男性	割合(%)	本・新聞記事等をよく見る		毎日歯の手入れを怠らない 20.7	受けている 6.9	その他 10.3	特にない 34.5	合計人数	
	人数(人) 割合(%)	9.1	7 21.2	6 36.4	2 12.1	3.0	10 18.2	29	
女性	人数(人)	3	7	12	4	1	6	33	
問12 歯の) <u>本数</u>	20本以上	Ⅰ 10~19本	9本以下	無回答] 合計人数			
男性	割合(%) 人数(人)	36.0	12.0	24.0	28.0	25			
女性	割答(%) 人数(人)	36.0 9	16.0	40.0 10	8.0	25			
問13 食事		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	т т	10] 25			
□10 ₩ =			硬くて噛みにくい食べ物がある		味が分かりにくい	77.10	合計人数		
男性	割合(%) 人数(人)	61.5 16	26.9 7	7.7 2	3.8 1	0.0	26		
女性	割合(%) 人数(人)	47.6 10	33.3 7	14.3 3	4.8 1	0.0	21		
							-		
〈障害者〉									
問8 歯磨	き回数(年代男	月 <u>女別)</u> 【 O回	1回	20	3回	4回	50	不明	合計人数
身体・男性・	割合(%)	9.8	43.9	34.1	9.8	2.4	0.0	0.0	
身体•女性-	人数(人) 割合(%)	2.2	18 11.1	14 42.2	4 42.2	0.0	0.0	0 2.2	41 45
精神・男性・	人数(人) 割合(%)	14.3	5 57,1	19 28.6	19 0.0	0.0	0.0	0.0	45
精神・女性・	人数(人) 割合(%)	10.0	30.0	20.0	0 40.0	0.0	0.0	0.0	7
知的•男性-	人数(人) 割合(%)	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10
知的•女性	人数(人) 割合(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
	人数(人)	0	0	2	0	0	0	0	2
問9 歯間		.等の使用(複数 デンタルフロ	(回答) 歯間ブラシ	舌ブラシ	使用なし	不明	合計人数		
身体•男性-	割合(%) 人数(人)	7.3	17.1 7	7.3 3	65.9 27	2.4 1	41		
身体·女性	割合(%) 人数(人)	8.7 4	34.8 16	17.4 8	39.1 18	0.0	46		
精神•男性	割答(%) 人数(人)	16.7	0.0	0.0	83.3 5	0.0	6		
精神•女性	割含(%) 人数(人)	10.0	10.0	10.0	60.0 6	10.0	10		
知的•男性	割答(%) 人数(人)	18.2	9.1	9.1	54.5 6	9.1	11		
知的·女性	割合(%) 人数(人)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	2		
問10 歯科		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 王1同)	, ,			-		
	割合(%)	している 43.9	していない 56.1	無回答 0.0	合計人数				
身体•男性-	大数(大) 割合(%)	18 28.9	23 68.9	0.0	41				
身体•女性-	入数(人) 割合(%)	13 28.6	31 71.4	1 0.0	45				
精神・男性-	人数(人)	2	5	0	7				
精神•女性-	割合(%)	40.0	50.0	10.0	10				
知的•男性-	割合(%)	20.0	80.0	0.0	10				
知的•女性	割合(%) 人数(人)	50.0 1	50.0 1	0.0 0	2				
問11 歯や	ロのためにと	っている行動(ネ			T			•	
	割合(%)	本・新聞記事等をよく見る		毎日歯の手入れを怠らない	歯や歯ぐきの定期健診を 受けている	その他	意識して行っていることは特にない	合計人数	
身体•男性-	人数(人)	6.9	6.9	48.3 14	31.0 9	6.9	0.0	29	
身体•女性-	割合(%)	15.6 5	6.3	43.8 14	28.1 9	6.3	0.0	32	
精神・男性	割合(%) 人数(人)	0.0	0.0	12.5 1	12.5 1	0.0	75.0 6	8	
精神·女性	割合(%) 人数(人)	0.0	18.2 2	27.3 3	9.1 1	0.0	45.5 5	11	
知的•男性	割合(%) 人数(人)	8.3 1	8.3	33.3 4	8.3 1	0.0	41.7 5	12	
知的·女性	割合(%) 人数(人)	0.0	0.0	50.0 1	0.0 0	0.0 0	50.0 1	2	
問12 歯の									
	割合(%)	<u>20本以上</u> 56.1	10~19本 19.5	9本以下 17.1	無回答 7.3	合計人数			
身体·男性	人数(人) 割合(%)	23 48.9	17.8 17.8	7 24.4	3 8.9	41			
身体・女性・	人数(人) 割合(%)	22 42.9	8	11 14.3	4 42.9	45			
精神・男性・	人数(人) 割合(%)	3 50.0	0.0 0 20.0	10.0	3 20.0	7			
精神・女性・	人数(人) 割合(%)	50.0 5 50.0	20.0	10.0	2 30.0	10			
知的•男性	人数(人)	50.0 5 0.0	1 50.0	10.0	3	10			
知的·女性	割合(%) 人数(人)	0.0	30.0 1	0.0	50.0 1	2			
8844 4 十	·								
問13 食事			硬くて噛みにくい食べ物がある マスカー マスカー		味が分かりにくい	分からない	合計人数		
身体•男性-	割合(%) 人数(人)	62.2 23	27.0 10	2.7 1	2.7 1	5.4 2	37		
身体•女性-	割合(%) 人数(人)	69.8 30	27.9 12	2.3	0.0	0.0 0	43		
精神·男性	割答(%) 人数(人)	100.0 5	0.0	0.0	0.0	0.0	5		
精神·女性	割合(%)	72.7 8	27.3 3	0.0	0.0	0.0	11		
知的•男性	人数(人) 割合(%) 人数(人)	90.0	10.0	0.0 0	0.0	0.0 0	10		
知的•女性-	<u> </u>	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0] 'Ŭ		

参考資料

関川村健康づくり計画「健康せきかわ21 (第2次)」計画策定委員名簿

平	田	大	六	健康づくり推進協議会会長	佐	藤	忠	良	健康づくり事業推進委員会 委員長
須	ļ	Į	勝	健康づくり推進協議会 副会長	中	束	正	子	健康づくり事業推進委員会 副委員長
佐	々木	綾	子	健康づくり推進協議会委員 (村上保健所長)	関	力	÷	美	健康づくり事業推進委員会指 導者(村上保健所健康増進担当)
太	田	昌	幸	健康づくり推進協議会委員 (村内医師代表)					
橋	本	和	雄	健康づくり推進協議会委員 (村内歯科医師代表)					

ワーキング部会別名簿

○栄養、食生活

	健康づくり推進 協議会委員氏名				委嘱区分		役場庁内プロジェ クト委員氏名			担当課・担当業務		
松	田]	朝	子	食生活改善推進員代表 (会長)	須	貝	博	子	住民福祉課 健康介護班班長		
須	貝	. ,	麗	子	食生活改善推進員代表 (副会長)	佐	藤	恵	子	地域包括支援センター 班長		
髙	橋	か	な	江	母子保健推進員代表	加	j	籐	悠	農林観光課 地産地消担当		
髙		橋		正	事業所代表	平	田	寛	幸	住民福祉課 保育園担当		
渡	部	美	紀	子	学校栄養教諭	渡	邉。	みな	み	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)		
						竹	田	涼	花	住民福祉課 健康増進担当 (管理栄養士)		

○運動

須	貝		郎	区長代表	中	東	正	子	住民福祉課 課長
石	Щ	_	男	健康づくり推進員代表 (副会長)	河	内	信	幸	建設環境課 地域整備担当
石	Щ	牛	ン	健康づくり推進員代表 (副会長)	小	泄	1	毅	教育課 体力づくり担当
小	林	雅	子	運動指導士	島	洋	ţ	穴	地域包括支援センター 介護予防担当(保健師)
佐	藤	清	美	運動指導士	佐	々木	ジ	織	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)
					Л	村	華	子	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)

○たばこ・アルコール

遠	藤	美	奈	子	学校保健代表 (関川中学校養護教諭)	伊	藤	和	義	住民福祉課	福祉保険班長
須		貝		勝	健康づくり推進員代表 (会長)	渡	邉	隆	久	建設環境課	環境衛生担当
伝		信		男	知識経験者	渡	部	竜	中	農林観光課	商工観光担当
近	壽		太	郎	知識経験者	渡	邉	輝	章	住民福祉課	国保医療担当
						稲	垣	暁	美	住民福祉課 (保健師)	健康増進担当
						相	馬	清	子	住民福祉課	健康増進担当

ワーキング部会別名簿

○歯科保健

	健康づくり推進 協議会委員氏名				委嘱区分		役場庁内プロジェ クト委員氏名			担当課・担当業務
遠	藤	藤美奈子		子	学校保健代表 (関川中学校養護教諭)				美	地域包括支援センター 介護予防担当(保健師)
須		貝		勝	健康づくり推進員代表 (会長)	平	田	寛	幸	住民福祉課 保育園担当
松	田	j	朝	子	食生活改善推進員代表 (会長)	稲	垣	暁	美	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)
高	橋	か	な	江	母子保健推進員代表	渡	邉 み	ょな	み	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)
						Ш	村	華	子	住民福祉課 健康増進担当 (保健師)
						竹	田	涼	花	住民福祉課 健康増進担当 (管理栄養士)

計画の策定経過

月 日	内容					
平成 26 年 12 月 22 日	事務局会議(住民福祉課健康増進担当者会議) 第2次計画策定について、最終評価の方法について確認					
平成 27 年 1月~2月	計画最終評価に関するアンケート調査					
3月18日	健康づくり推進協議会 計画策定に向けた方向性の確認					
5月~11月	1 次計画最終評価に伴う調査実施期間					
7月~12月	調査結果集計・まとめ					
9月30日	事務局会議(住民福祉課健康増進担当者会議) 第2次計画評価結果・方向性について等協議					
10月27日	健康づくり推進協議会 調査結果から目標・具体的な対策・計画の方向性等検討					
平成 28 年 2 月 25 日	事務局会議(住民福祉課健康増進担当者会議) 第2次計画素案作成について協議					
3月11日	事務局会議(住民福祉課健康増進担当者会議) 第2次計画素案について協議					
3月22日	健康づくり推進協議会 第2次計画素案協議					
3月末	第2次計画完成					